

# 令和元年度 山口支部医療費分析



全国健康保険協会 山口支部  
協会けんぽ

# I．山口支部医療費の全国との比較



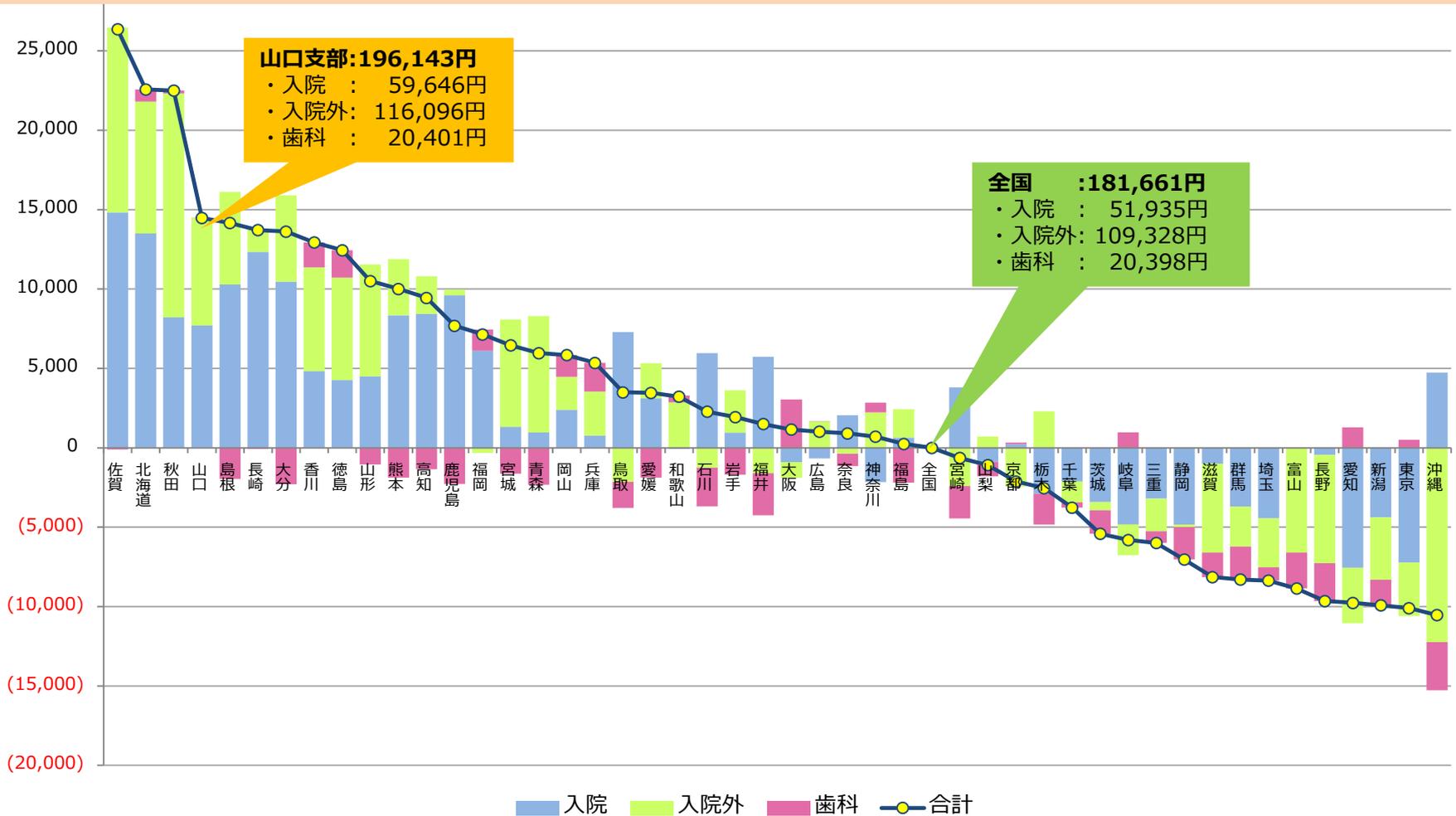
全国健康保険協会 山口支部  
協会けんぽ

機密性2  
 加入者1人あたりの診療種別医療費の全国比較（令和元年度）

山口支部は196,143円で全国平均を14,482円上回っており、**全国4位**ととても高い水準にあります。内訳では、**入院・入院外は全国平均より非常に高い水準**です。歯科は全国平均並みです。

最高は佐賀支部の208,024円、最低は沖縄支部の171,126円です。

※グラフの縦軸は全国平均との差（単位：円）



## 山口支部加入者1人あたりの入院医療費の全国比較（令和元年度）

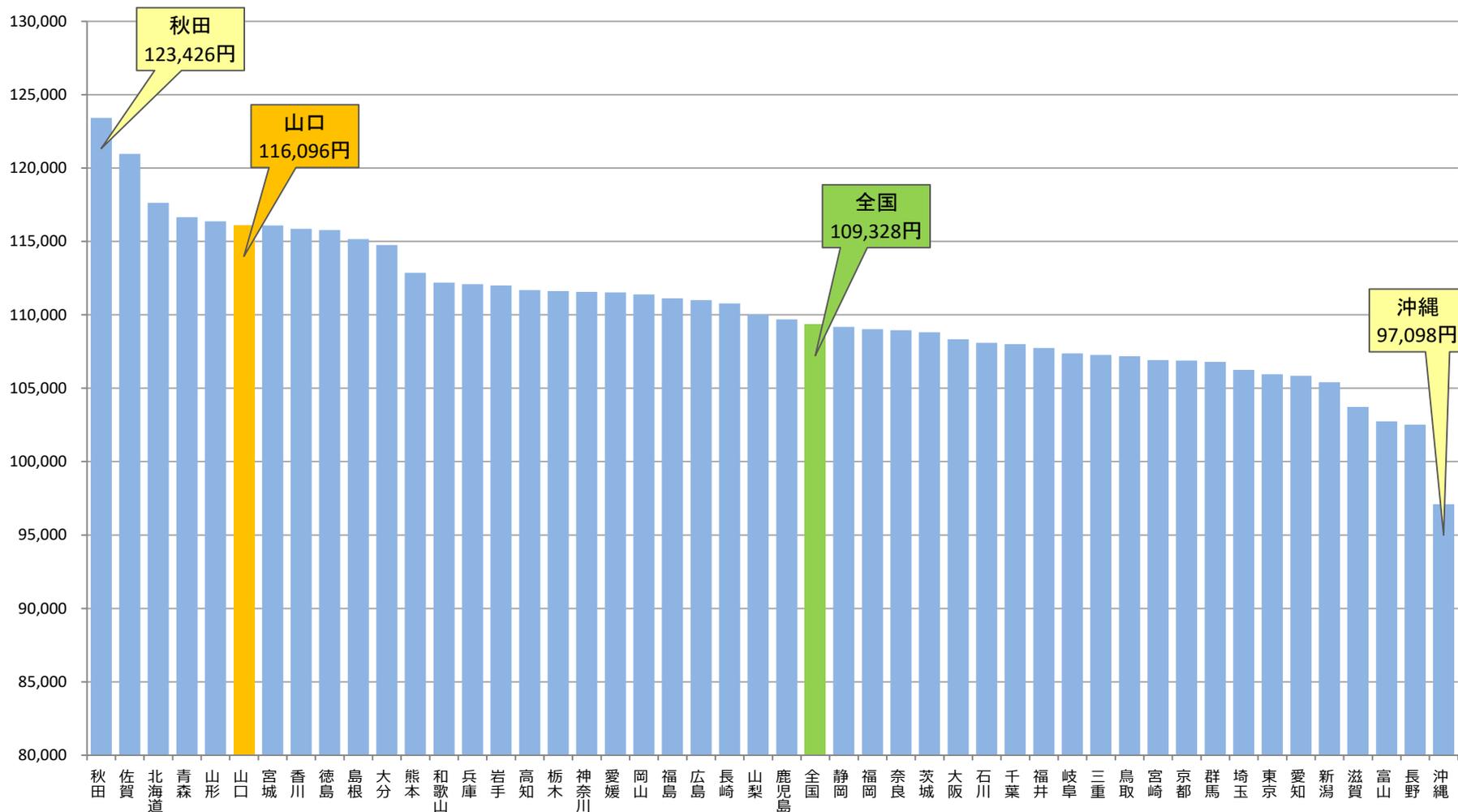
山口支部は59,646円で全国平均を7,711円上回っており**全国10位と高い水準**にあります。最高は佐賀支部の66,762円、最低は愛知支部の44,368円です。  
※グラフの単位は円



## 山口支部加入者1人あたりの入院外医療費の全国比較（令和元年度）

山口支部は116,096円で全国平均を6,768円上回っており、**全国6位**と**とても高い水準**にあります。最高は秋田支部の123,426円、最低は沖縄支部の97,098円です。

※グラフの単位は円

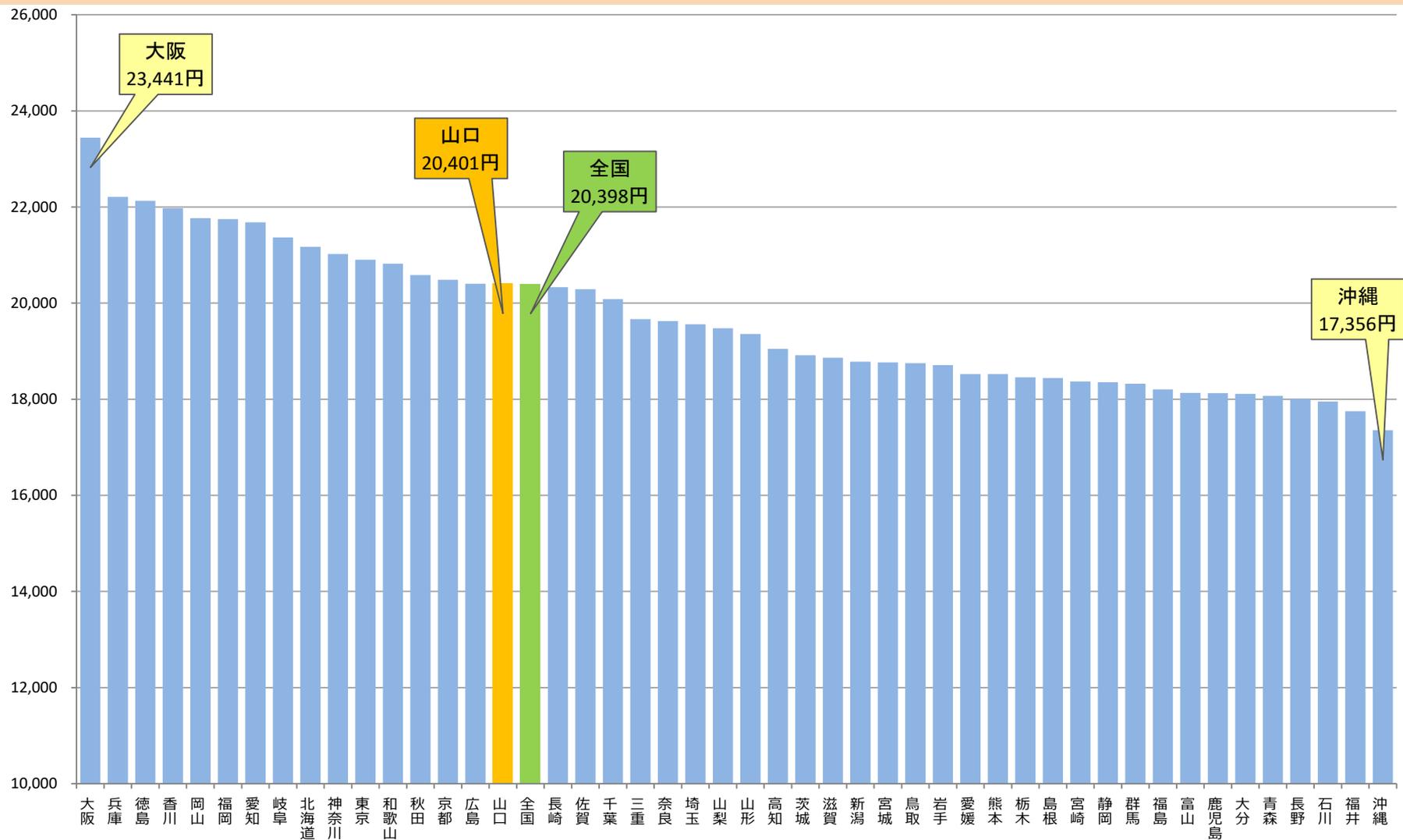


山口支部加入者1人あたりの**歯科医療費**の全国比較（令和元年度）

山口支部は20,401円で**全国平均並み**です。

最高は大阪支部の23,441円、最低は沖縄支部の17,356円です。

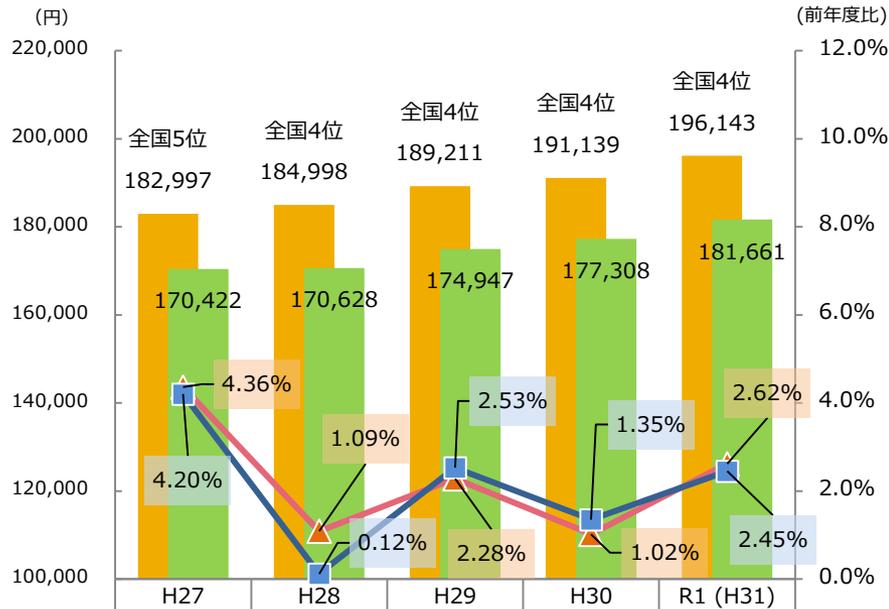
※グラフの単位は円



# 山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

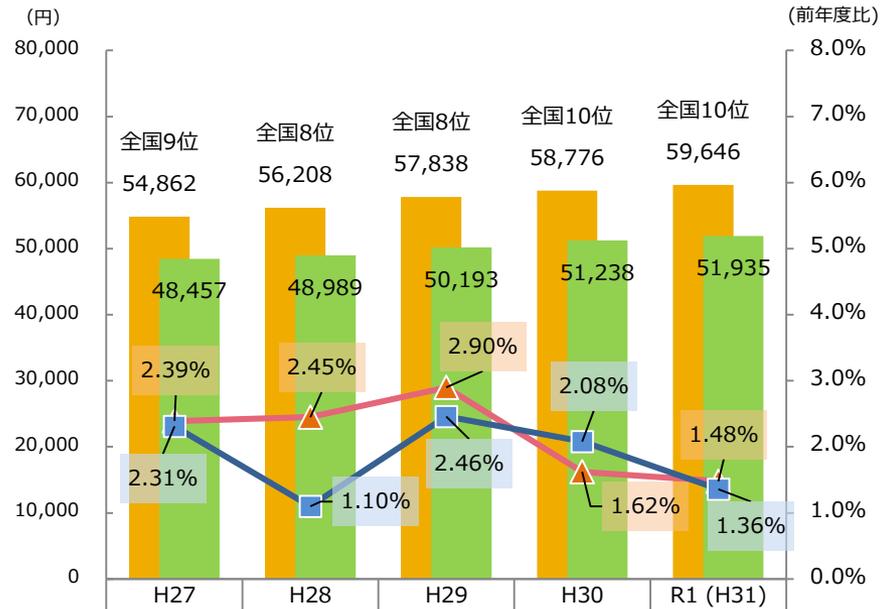
山口支部は1人あたりの医療費及び入院医療費が全国と比べて高いのみならず、増減率も若干高い傾向にあります。1人あたりの医療費は毎年増加しています。

## 1人あたりの医療費



山口	182,997	184,998	189,211	191,139	196,143
全国	170,422	170,628	174,947	177,308	181,661
山口	4.36%	1.09%	2.28%	1.02%	2.62%
全国	4.20%	0.12%	2.53%	1.35%	2.45%

## 1人あたりの医療費(入院)

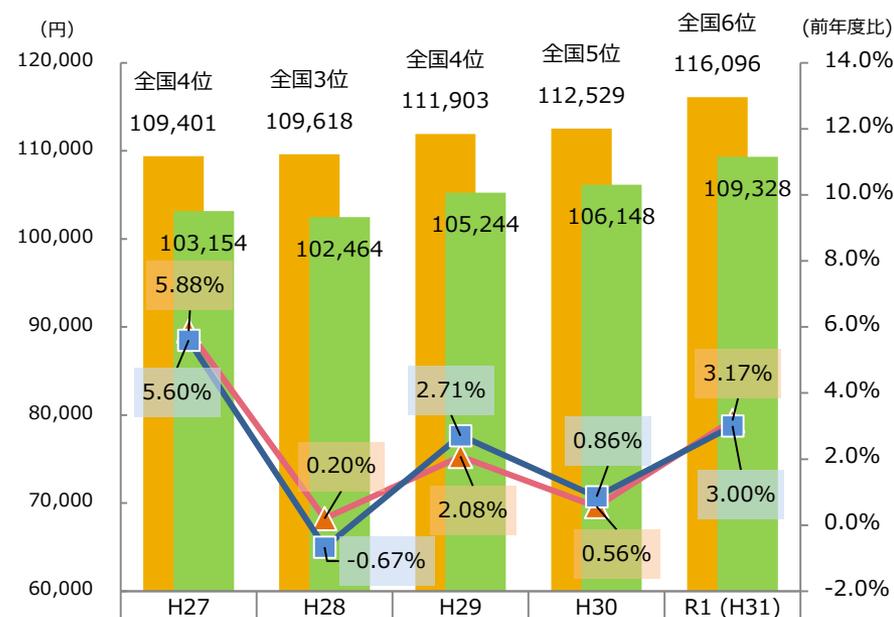


山口	54,862	56,208	57,838	58,776	59,646
全国	48,457	48,989	50,193	51,238	51,935
山口	2.39%	2.45%	2.90%	1.62%	1.48%
全国	2.31%	1.10%	2.46%	2.08%	1.36%

## 山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

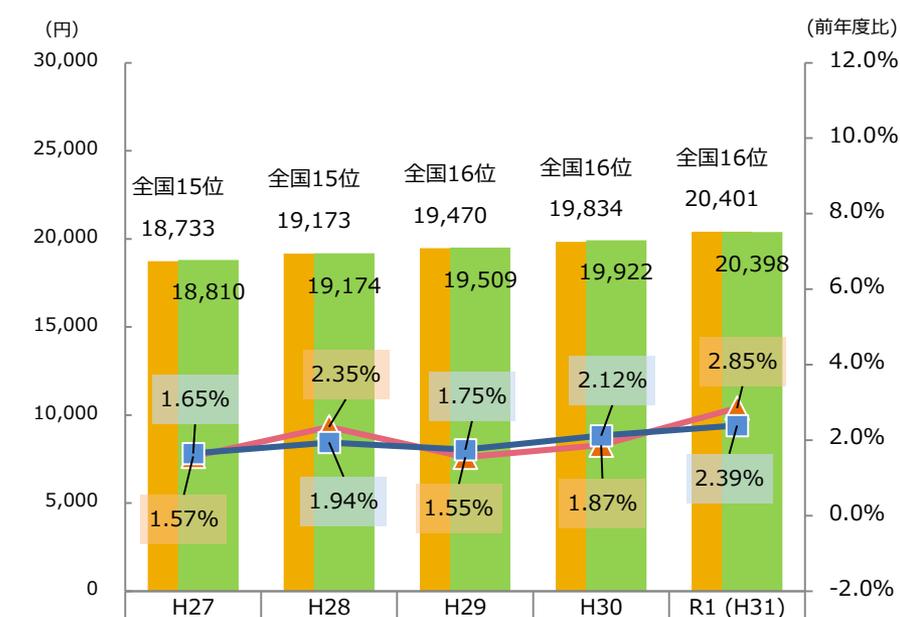
1人あたりの入院外医療費は全国と比べてとても高いのみならず、増減率も若干高い傾向にあります。  
1人あたりの歯科医療費は全国平均並みであり、増減率は全国平均より若干高い傾向となっています。

## 1人あたりの医療費(入院外)



山口	109,401	109,618	111,903	112,529	116,096
全国	103,154	102,464	105,244	106,148	109,328
山口	5.88%	0.20%	2.08%	0.56%	3.17%
全国	5.60%	-0.67%	2.71%	0.86%	3.00%

## 1人あたりの医療費(歯科)

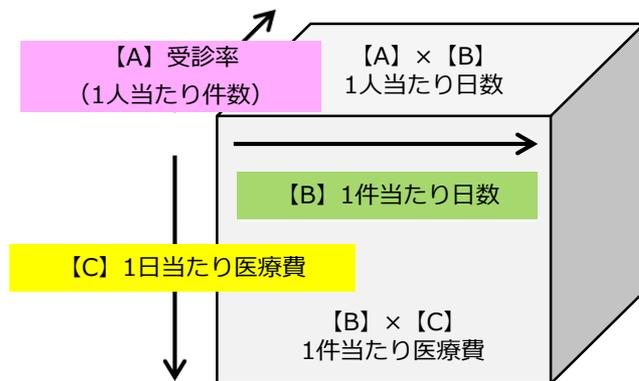


山口	18,733	19,173	19,470	19,834	20,401
全国	18,810	19,174	19,509	19,922	20,398
山口	1.57%	2.35%	1.55%	1.87%	2.85%
全国	1.65%	1.94%	1.75%	2.12%	2.39%

## 医療費の3要素分解とは…

1人あたり医療費は3要素に分解することができ、それぞれの要素の数値を様々な角度から比較することで、加入者の受診傾向などを把握することが可能となります。

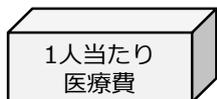
## ◆1人あたり医療費の構成3要素



## ◆医療費の動向分析の切り口

	医療【需要側】に関する主な要因	医療【供給側】に関する主な要因
[A] 受診率	健康度 症状の程度 受診意識	医療機関数 医師数 病床数
[B] 1件あたり日数	疾病構造 症状の程度 受診意識	診療行為
[C] 1日あたり医療費	疾病構造 症状の程度	診療行為

## ◆1人あたり医療費を構成する3要素

1人あたり  
医療費

=

[A] 受診率

×

[B] 1件あたり日数

×

[C] 1日あたり医療費

[A] 受診率

= 一定期間内(※)に医療機関にかかった人の割合(レセプト件数を加入者数で除した値)

[B] 1件あたり日数

= 一定期間内(※)に医療機関にかかった日数(診療の総日数をレセプト件数で除した値)

[C] 1日あたり医療費

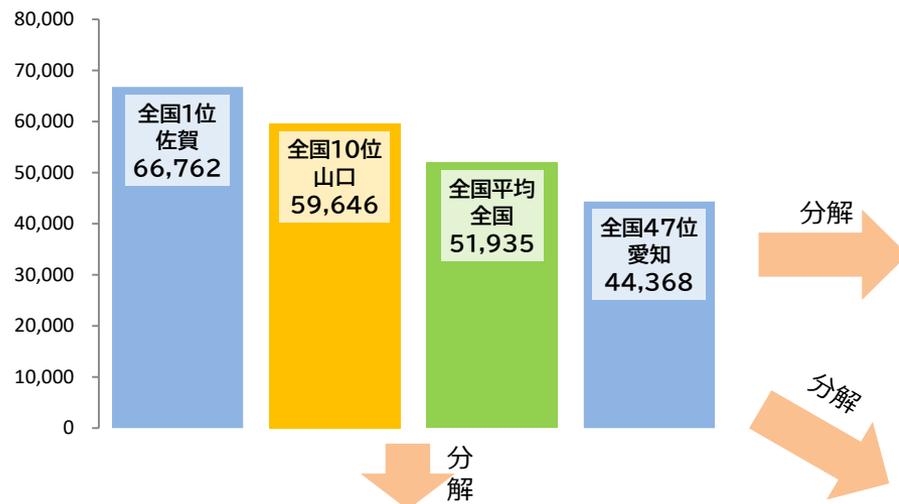
= 1日当たりにかかった医療費(総医療費を診療の総日数で除した値)

➤次ページから、医療費の3要素分解をしてみます。

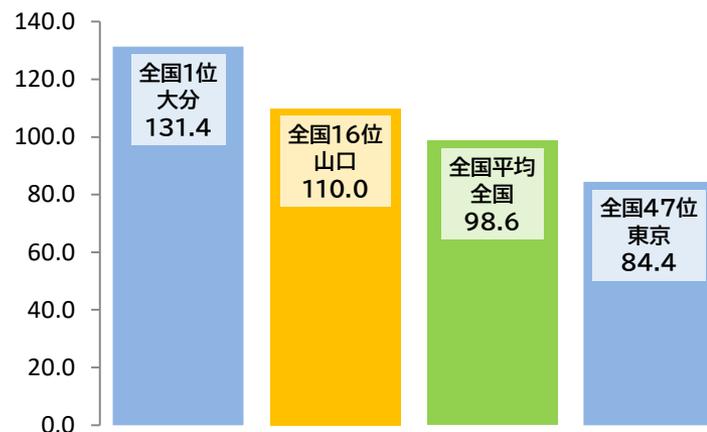
## 山口支部加入者1人あたり入院医療費の3要素分解（令和元年度）

山口支部の入院医療費の特徴として、【B】1件あたりの日数が全国と比べてとても高い傾向にあります、【C】1日あたりの医療費は低い傾向にあります。

## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



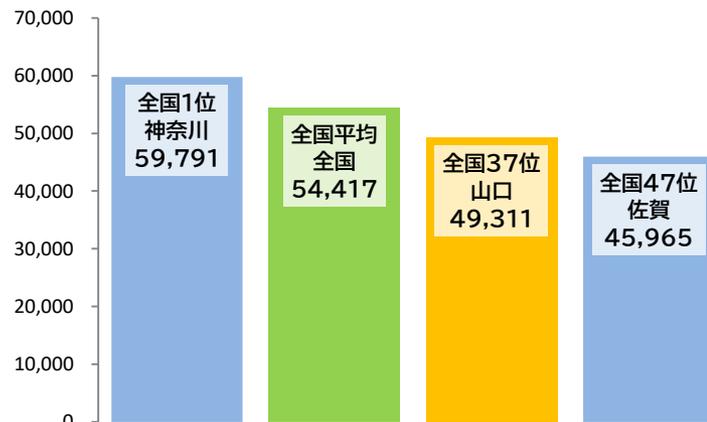
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



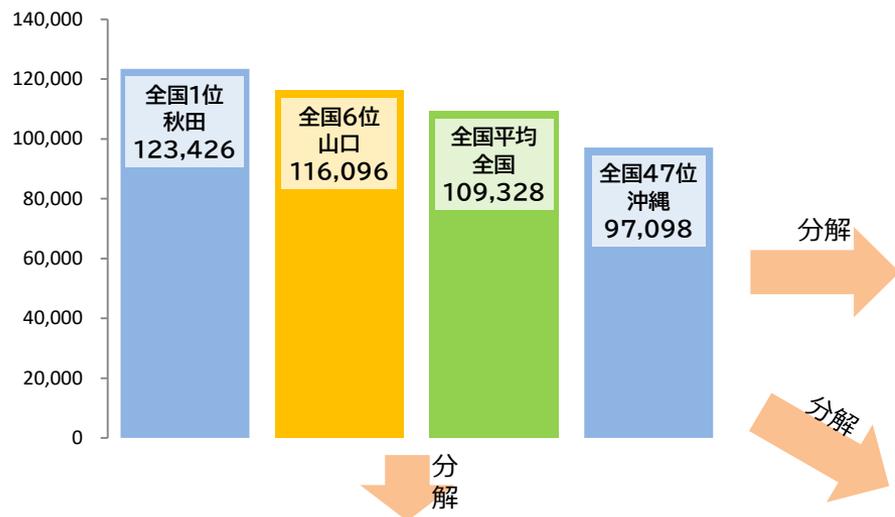
## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



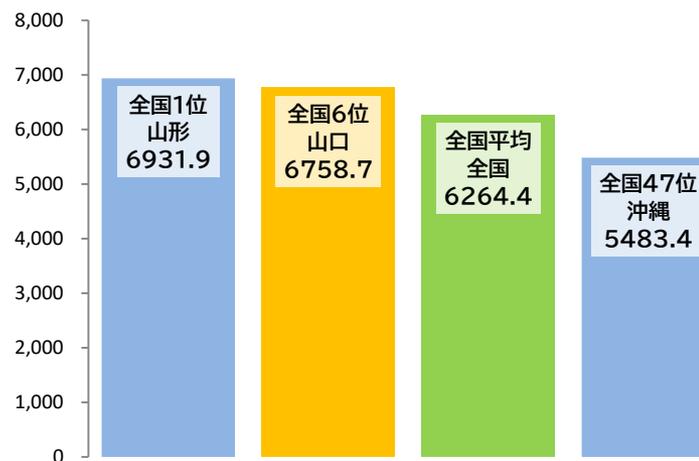
## 山口支部加入者1人あたり入院外医療費の3要素分解（令和元年度）

山口支部の入院外医療費の特徴として、【A】1人あたりの件数（受診率）が全国と比べてとても高い傾向にあります、【C】1日あたりの医療費は若干低い傾向にあります。

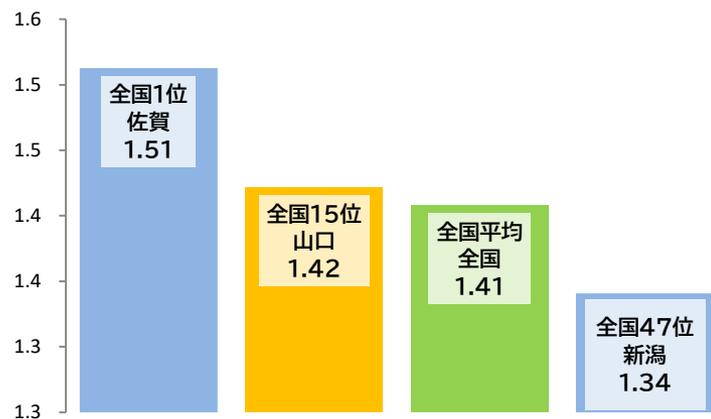
## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



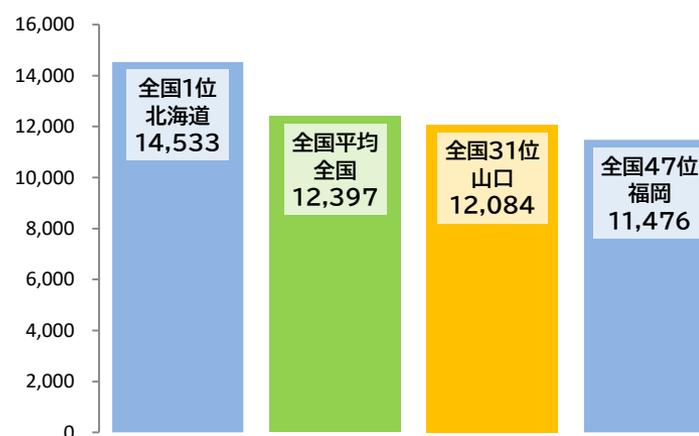
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



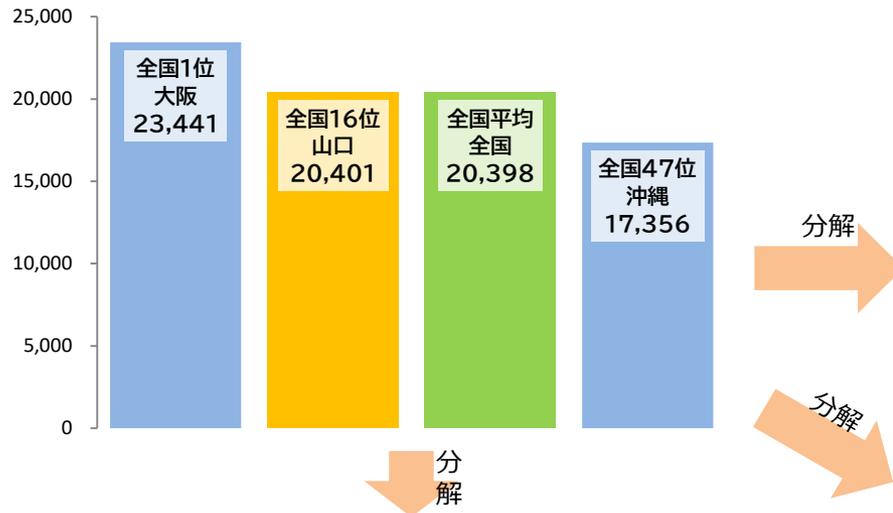
## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



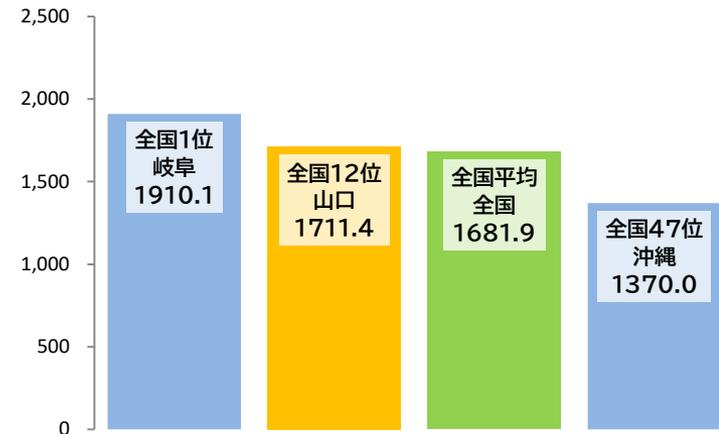
山口支部加入者1人あたり**歯科医療費**の3要素分解（令和元年度）

山口支部の歯科医療費の特徴として、【B】1件あたりの日数が全国が全国と比べて若干高い傾向にあります、【C】1日あたりの医療費は若干低い傾向にあります。

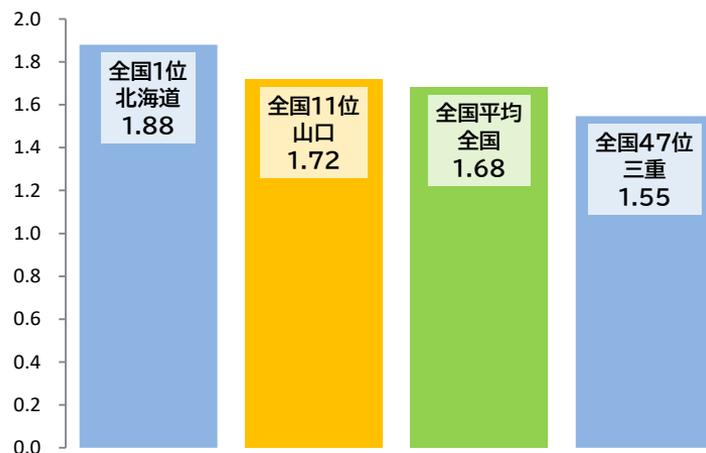
1人あたりの医療費（単位：円/人）



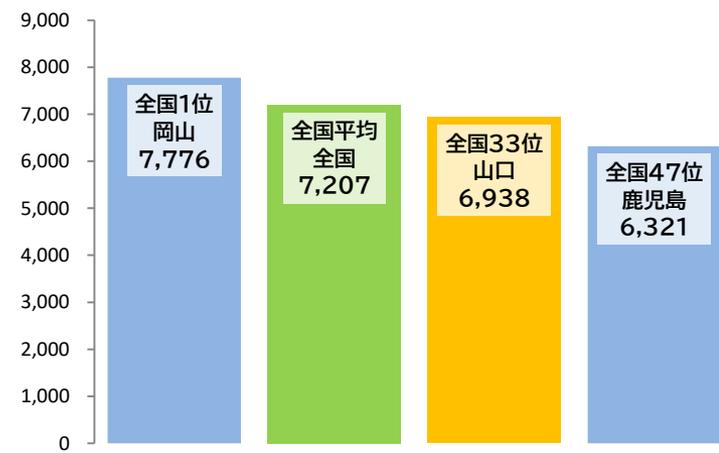
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



# 疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり医療費（令和元年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「循環器系の疾患」、「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で**全体の1/3（33.54%）**を占め、それらを含む上位5位までで**全体の5割（54.2%）**を超えています。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人当たり医療費を見てみると、全国と比べて**全体的に高い傾向**になっており、特に構成割合が大きい「新生物」は**全国6位**と高水準にあります。

疾病大分類名	山口支部加入者 一人当たり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
新生物（>がん、白血病など）	26,380	13.45%	12.85%	6
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	24,625	12.55%	12.45%	12
不明な分類	21,698	11.06%	11.72%	13
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	18,723	9.55%	9.82%	9
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	14,799	7.54%	7.46%	12
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	14,554	7.42%	7.10%	10
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	11,630	5.93%	5.79%	5
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	9,505	4.85%	5.21%	27
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	8,672	4.42%	4.00%	4
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	7,317	3.73%	3.65%	16
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	7,079	3.61%	3.25%	7
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	6,606	3.37%	3.72%	22
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	6,183	3.15%	3.19%	9
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	4,525	2.31%	2.66%	34
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,136	1.60%	1.29%	1
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	2,458	1.25%	1.16%	6
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	2,210	1.13%	1.31%	33
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	2,102	1.07%	1.20%	30
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	2,080	1.06%	1.28%	37
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,863	0.95%	0.91%	10

## 疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり入院医療費（令和元年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「新生物」、「循環器系の疾患」で**全体の4割（41.6%）を超え**、それらを含む上位5位までで**全体の約6割（64.1%）を占めています**。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人当たり入院医療費を見てみると、全国と比べて**全体的に高い傾向**になっており、特に構成割合が大きい「新生物」と「循環器系の疾患」が共に**全国9位**と高水準にあります。これらが影響して山口支部全体の1人当たり入院医療費が**全国10位**という高順位になっています。

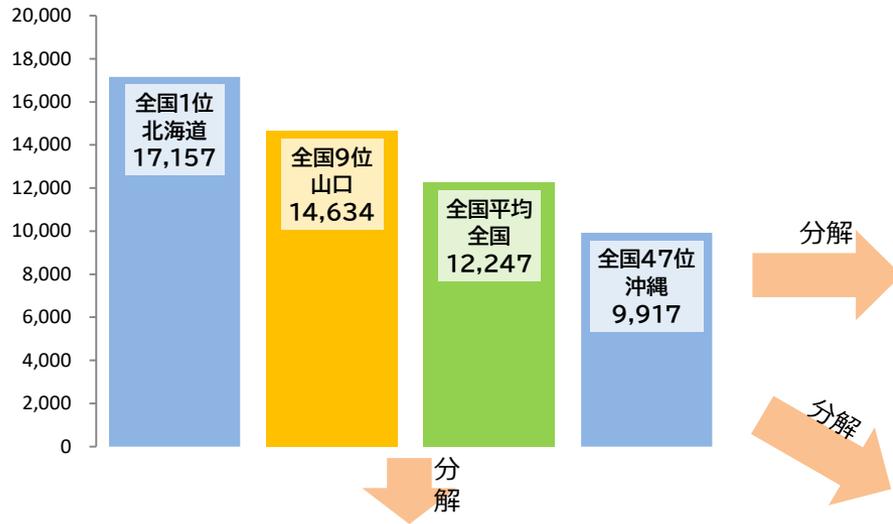
疾病大分類名	山口支部加入者 一人当たり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
新生物（>がん、白血病など）	14,634	24.54%	23.58%	9
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	10,147	17.01%	18.37%	9
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	4,951	8.30%	8.08%	13
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	4,386	7.35%	7.30%	16
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	4,139	6.94%	7.15%	10
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	3,080	5.16%	4.59%	11
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	2,829	4.74%	3.77%	7
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	2,663	4.47%	4.86%	21
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	2,218	3.72%	3.76%	12
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	2,053	3.44%	3.38%	7
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	1,955	3.28%	4.07%	34
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	1,365	2.29%	2.07%	8
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	1,257	2.11%	2.61%	34
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	985	1.65%	1.79%	23
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	822	1.38%	1.55%	17
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	609	1.02%	0.82%	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	480	0.80%	0.61%	2
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	461	0.77%	0.73%	8
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	393	0.66%	0.59%	6
不明な分類	216	0.36%	0.30%	9

> 上位のうち、生活習慣病を含む「新生物」「循環器系の疾患」の医療費の3要素分解をしてみます。

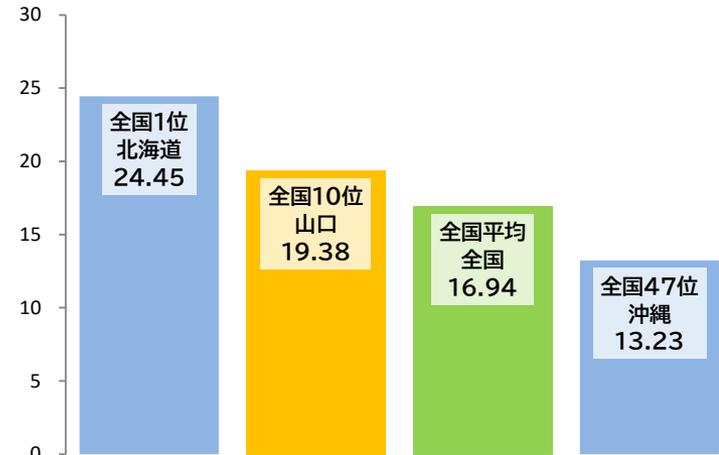
機密性2  
**新生物**の山口支部加入者1人あたり入院医療費（令和元年度）

3要素分解をしてみると、【C】1日あたりの医療費は全国44位であるにもかかわらず、【B】1件あたりの日数が全国1位と、特徴的であることが分かります。

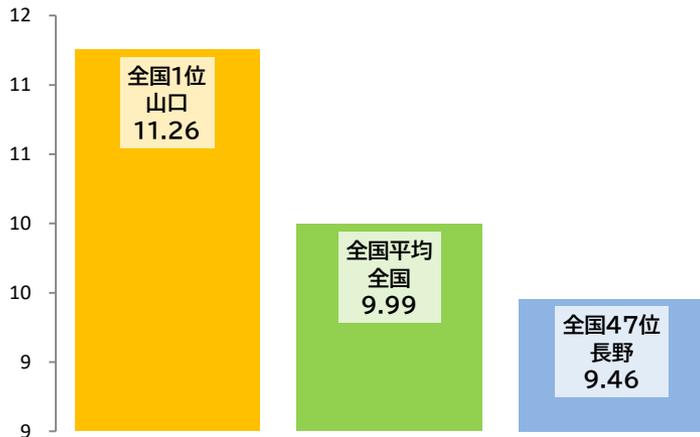
1人あたりの医療費（単位：円/人）



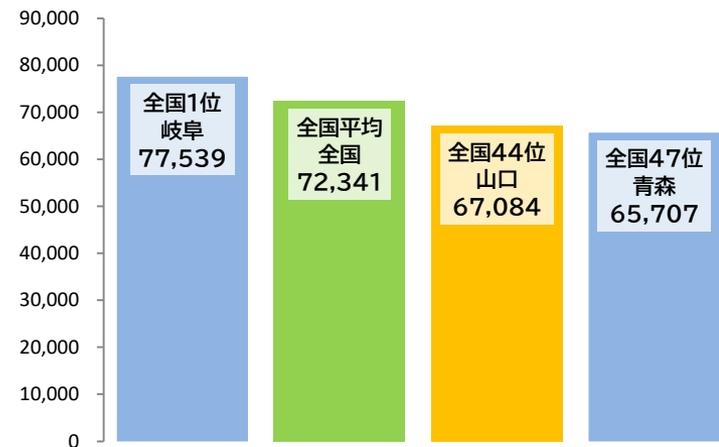
【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



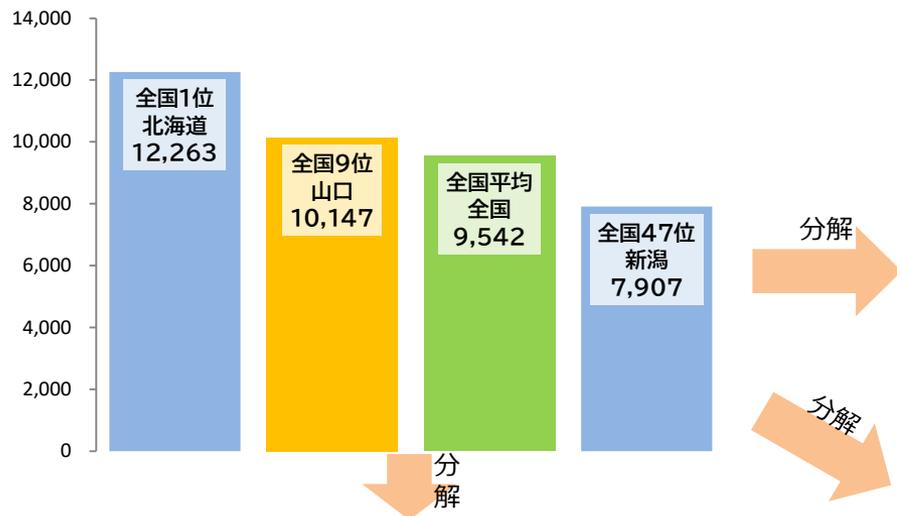
【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



# 循環器系の疾患の山口支部加入者1人あたり入院医療費（令和元年度）

3要素分解をしてみると、「新生物」の時と同様に【C】1日あたりの医療費は全国41位であるにもかかわらず、【B】1件あたりの日数が全国5位と、大変特徴的であることが分かります。また、【A】1人あたりの件数（受診率）も全国9位と非常に高い傾向にあります。これは新生物の場合と類似しています。

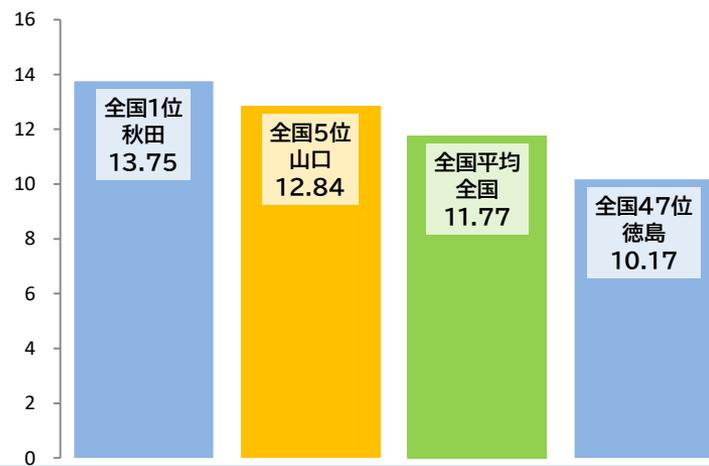
## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



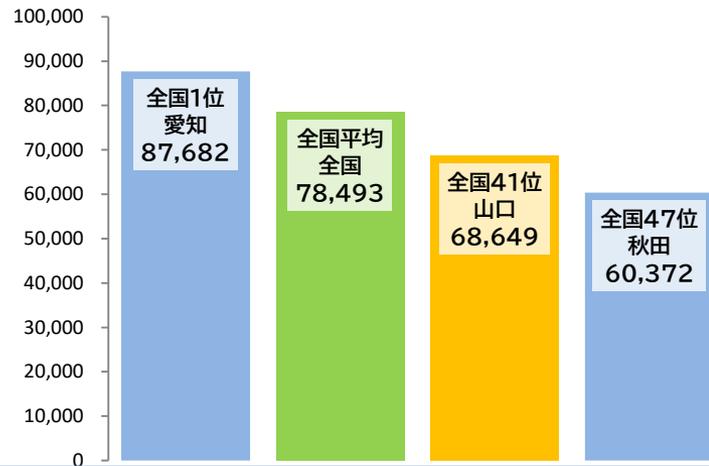
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



## 疾病種別ごとの山口支部加入者1人あたり入院外医療費（令和元年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物」で**全体の3割（34.2%）を超え**、それらを含む上位5位までで**全体の5割（56.3%）**を超えています。なお、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの山口支部の1人あたり入院外医療費を見てみると、全国に比べて**全体的に高い傾向**になっており、このことが影響して山口支部全体の一人あたり入院外医療費が**全国6位**という高順位になっています。

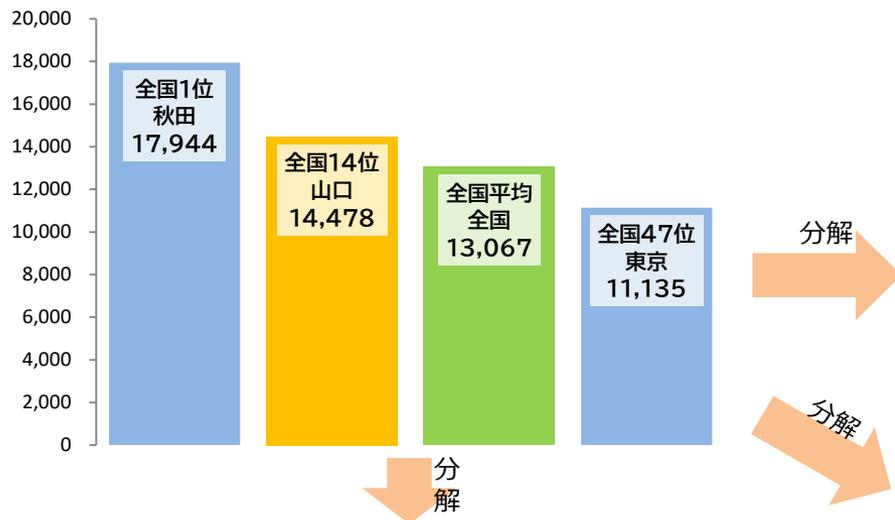
疾病大分類名	山口支部加入者 一人あたり医療費(多い順)	山口支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名に おける全国順位
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	16,060	13.83%	14.01%	6
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	14,478	12.47%	11.95%	14
内分泌、栄養及び代謝疾患（>糖尿病、甲状腺障害など）	13,433	11.57%	11.40%	14
新生物（>がん、白血病など）	11,745	10.12%	10.15%	12
筋骨格系及び結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節症など）	9,603	8.27%	7.96%	7
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	7,491	6.45%	6.21%	5
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	7,286	6.28%	6.88%	34
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	6,145	5.29%	5.83%	25
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	5,843	5.03%	4.86%	7
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	5,197	4.48%	4.45%	6
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	3,999	3.44%	3.21%	5
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	3,703	3.19%	3.68%	35
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	2,930	2.52%	2.60%	21
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,656	2.29%	1.85%	1
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	1,471	1.27%	1.73%	43
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,470	1.27%	1.22%	12
不明な分類	1,081	0.93%	0.68%	1
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	845	0.73%	0.75%	24
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	405	0.35%	0.32%	9
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	254	0.22%	0.24%	27

> 上位のうち、生活習慣病を含む「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「新生物」の医療費の3要素分解をしてみます。

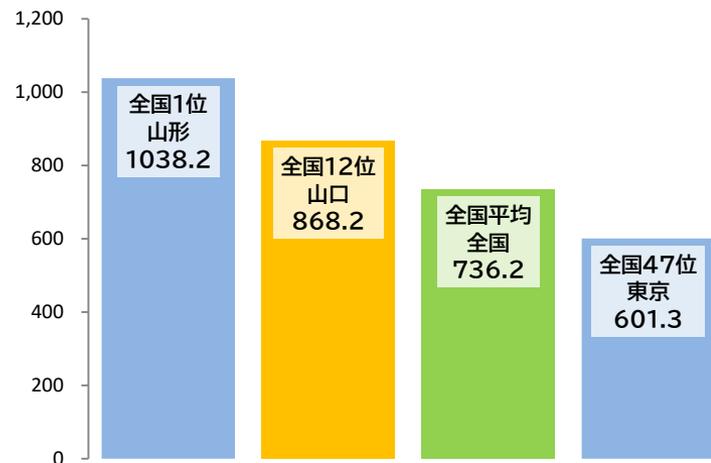
# 循環器系の疾患の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（令和元年度）

3要素分解をしてみると、【A】1人あたりの件数（受診率）が全国と比べて高く、【C】1日あたりの医療費が低い傾向にあります。

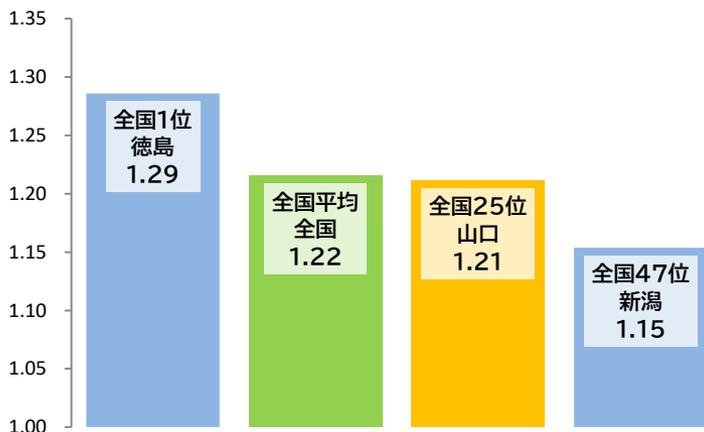
## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



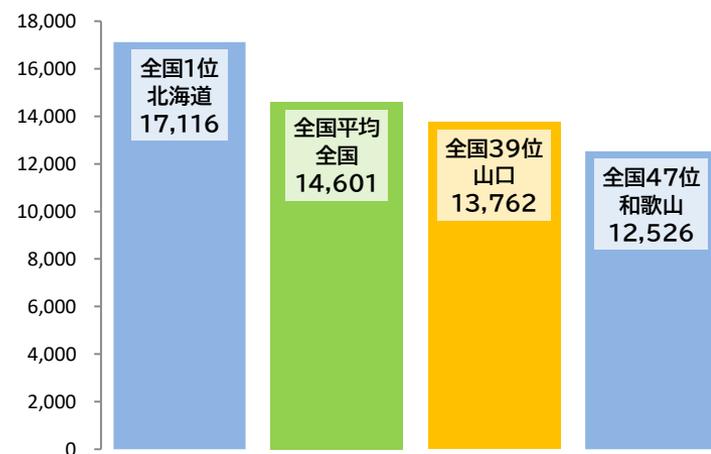
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



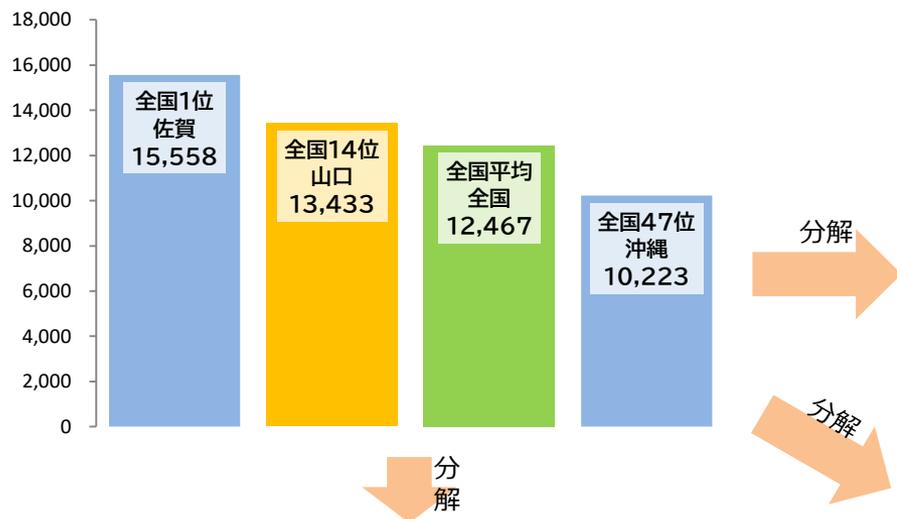
## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



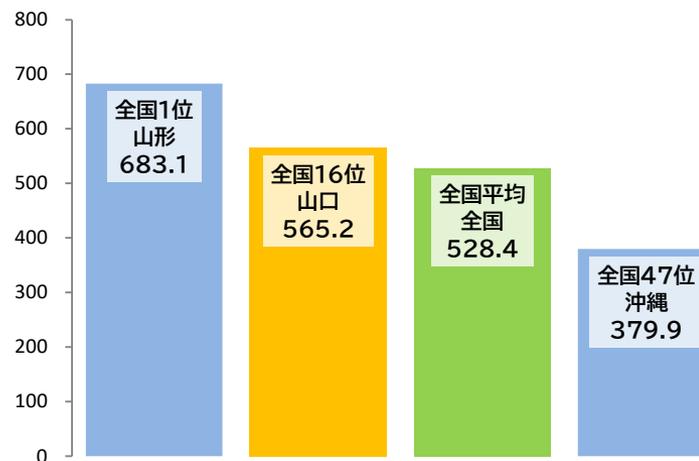
# 内分泌、栄養及び代謝疾患の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（令和元年度）

3要素分解をしてみても、概ね全国平均付近であり、特に特徴的な傾向はありません。

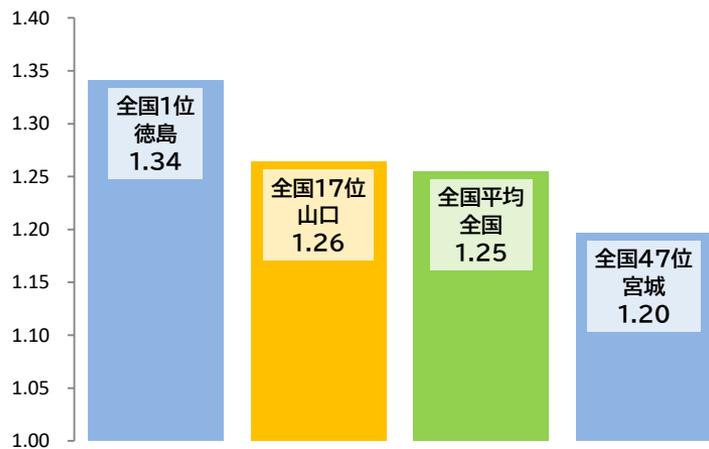
## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



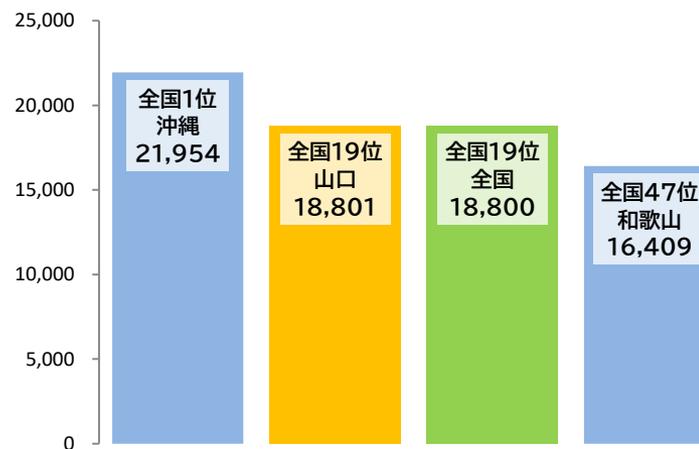
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



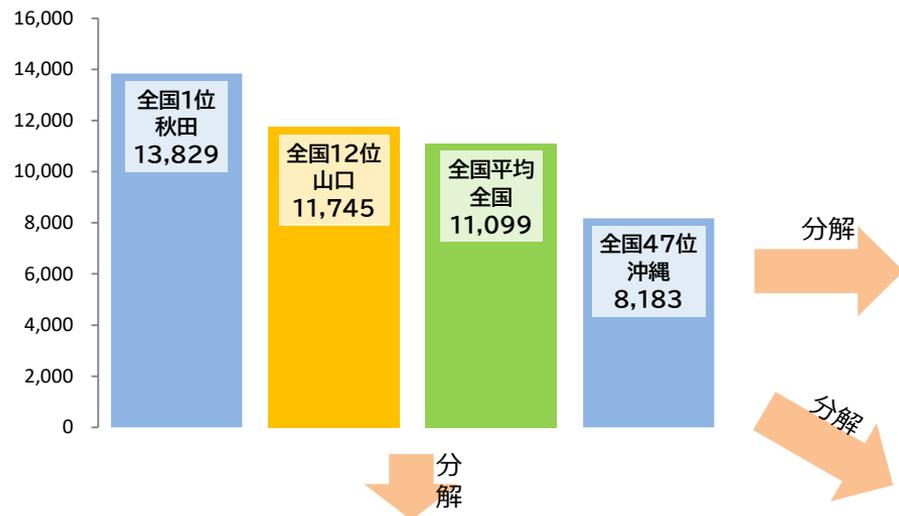
## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）



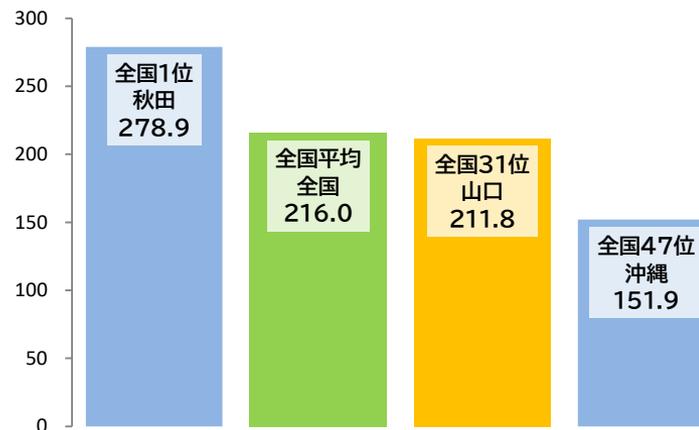
# 新生物の山口支部加入者1人あたり入院外医療費（令和元年度）

3要素分解をしてみると、【C】1日あたりの医療費が比較的高い傾向があります。【A】1人あたりの件数（受診率）若干低い傾向にあります。

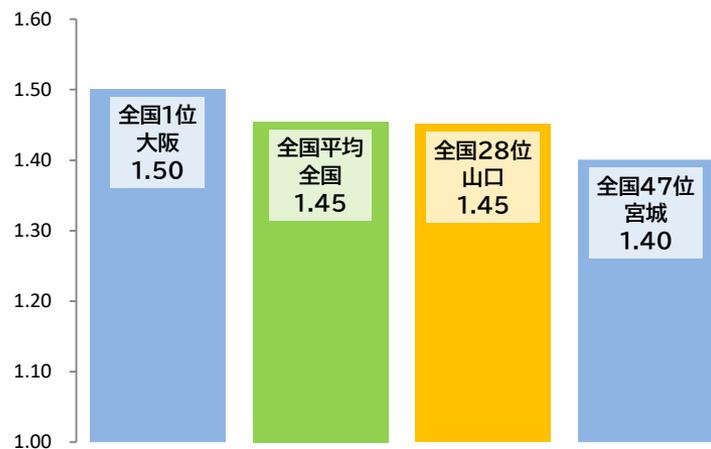
## 1人あたりの医療費（単位：円/人）



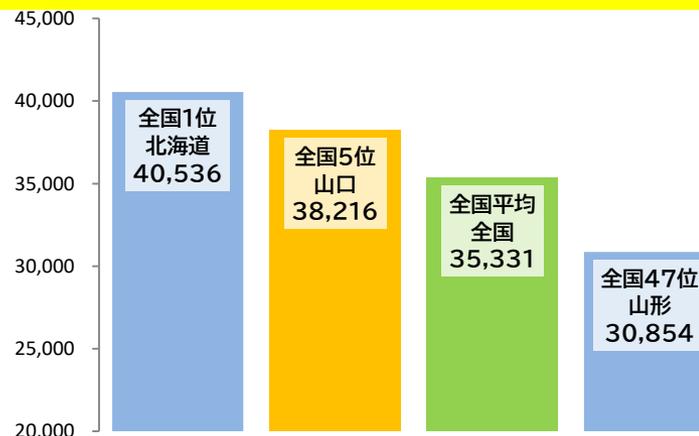
## 【A】1人あたりの件数(受診率)（単位：件/千人）



## 【B】1件あたりの日数（単位：日/件）



## 【C】1日あたりの医療費（単位：円/日）

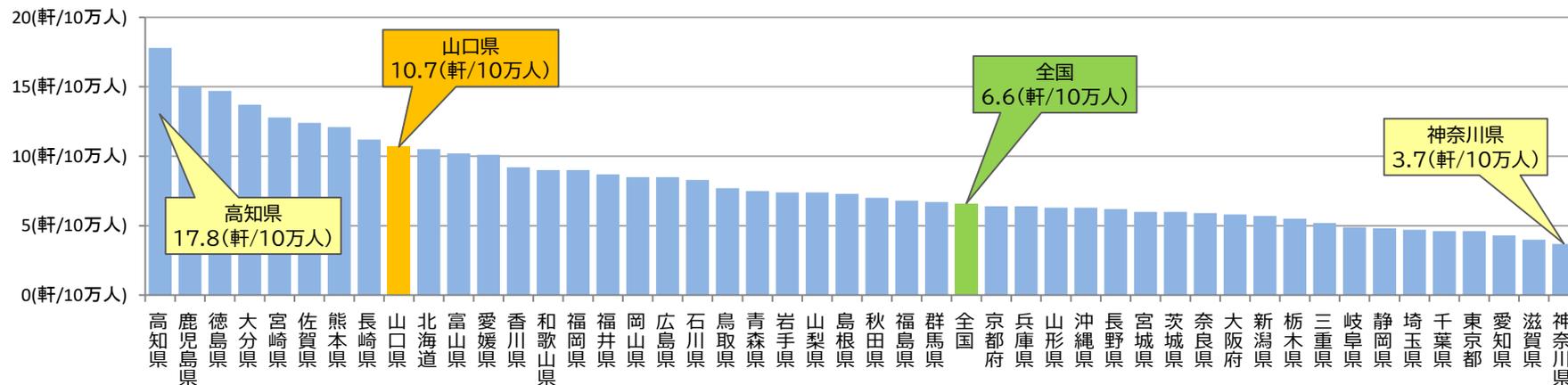


## Ⅱ.山口県医療提供体制にかかる全国との比較

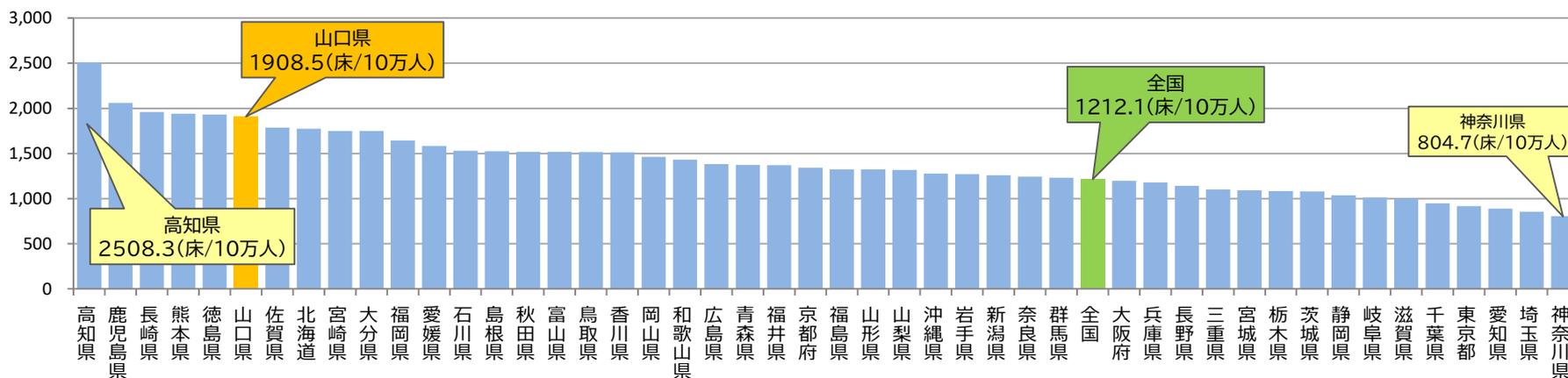
# 病院数とその病床数の全国比較（令和元年度）

山口県は病院数、病院病床数とも全国と比べて多く、病床数については**全国6位と高水準**です。  
このことは、**入院医療費の1件あたりの日数や平均在院日数が多い要因**として挙げることができます。

## ◆人口10万人対病院数



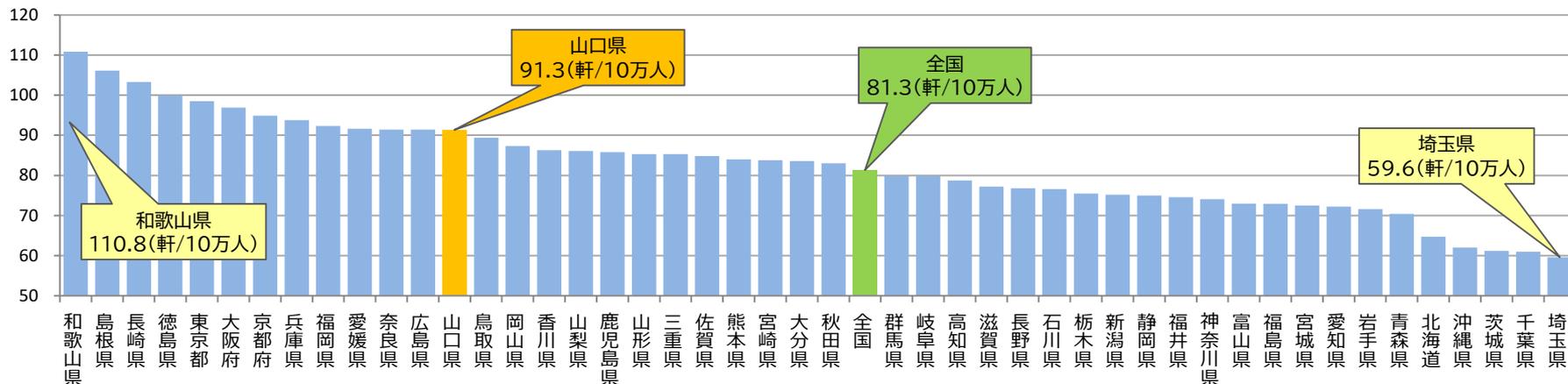
## ◆人口10万人対病院の病床数



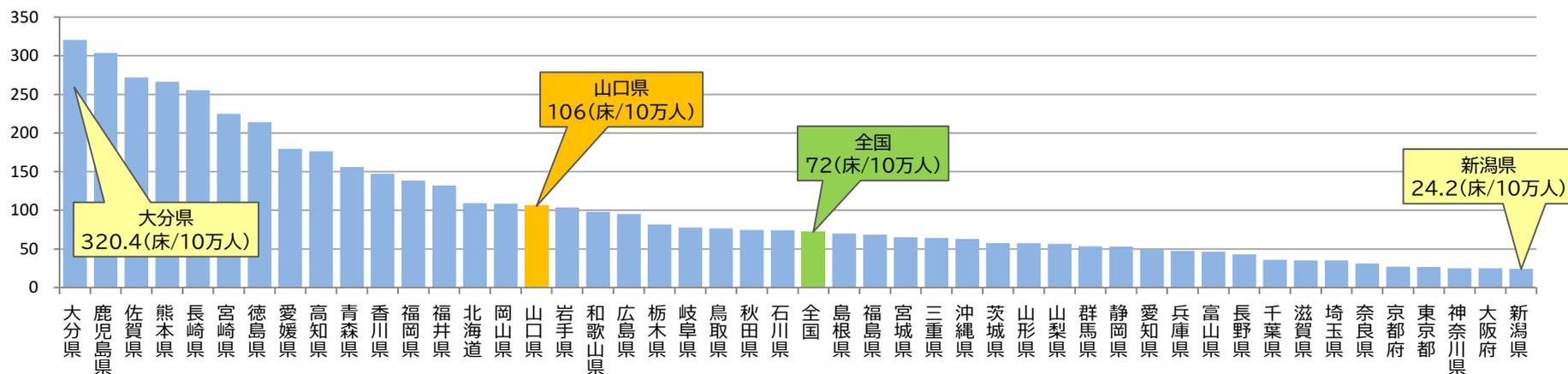
# 診療所数とその病床数の全国比較（令和元年度）

山口県は診療所数、診療所病床数とも全国と比べて多く、診療所数は**全国13位**です。

## ◆人口10万人対診療所数



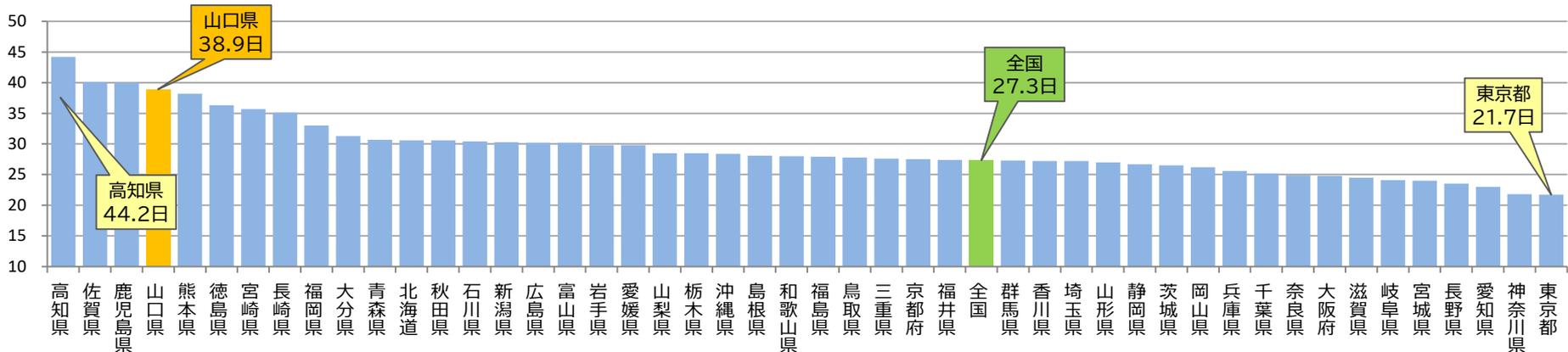
## ◆人口10万人対診療所の病床数



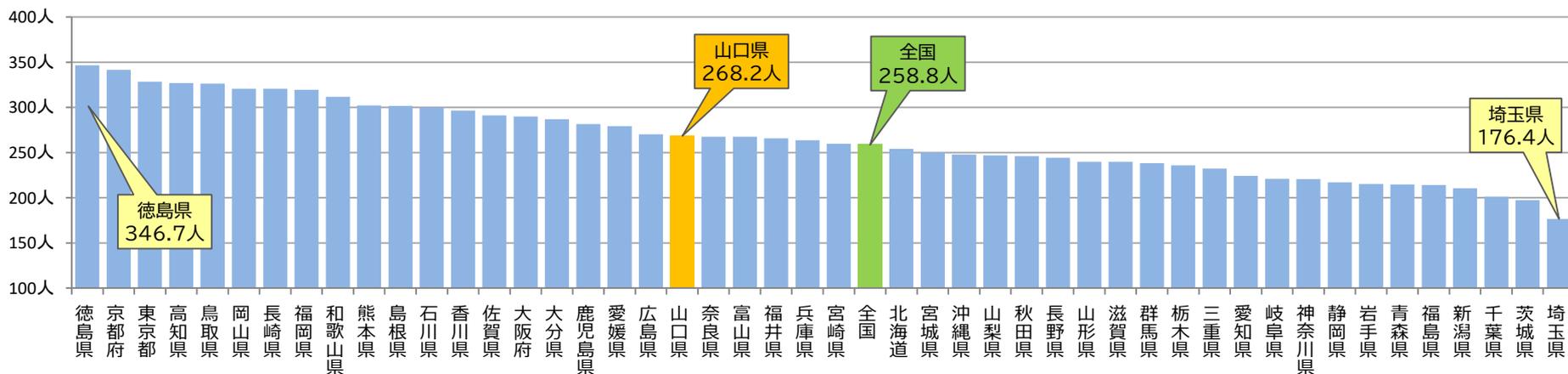
# 平均在院日数および医師数の全国比較（令和元年度）

山口県は平均在院日数が全国4位と**非常に高い**ことがわかります。また、平均在院日数が多いことは、入院医療費において1件あたりの日数が多い一つの要因と考えられます。医師数については全国平均並みとなっています。

## ◆ 平均在院日数



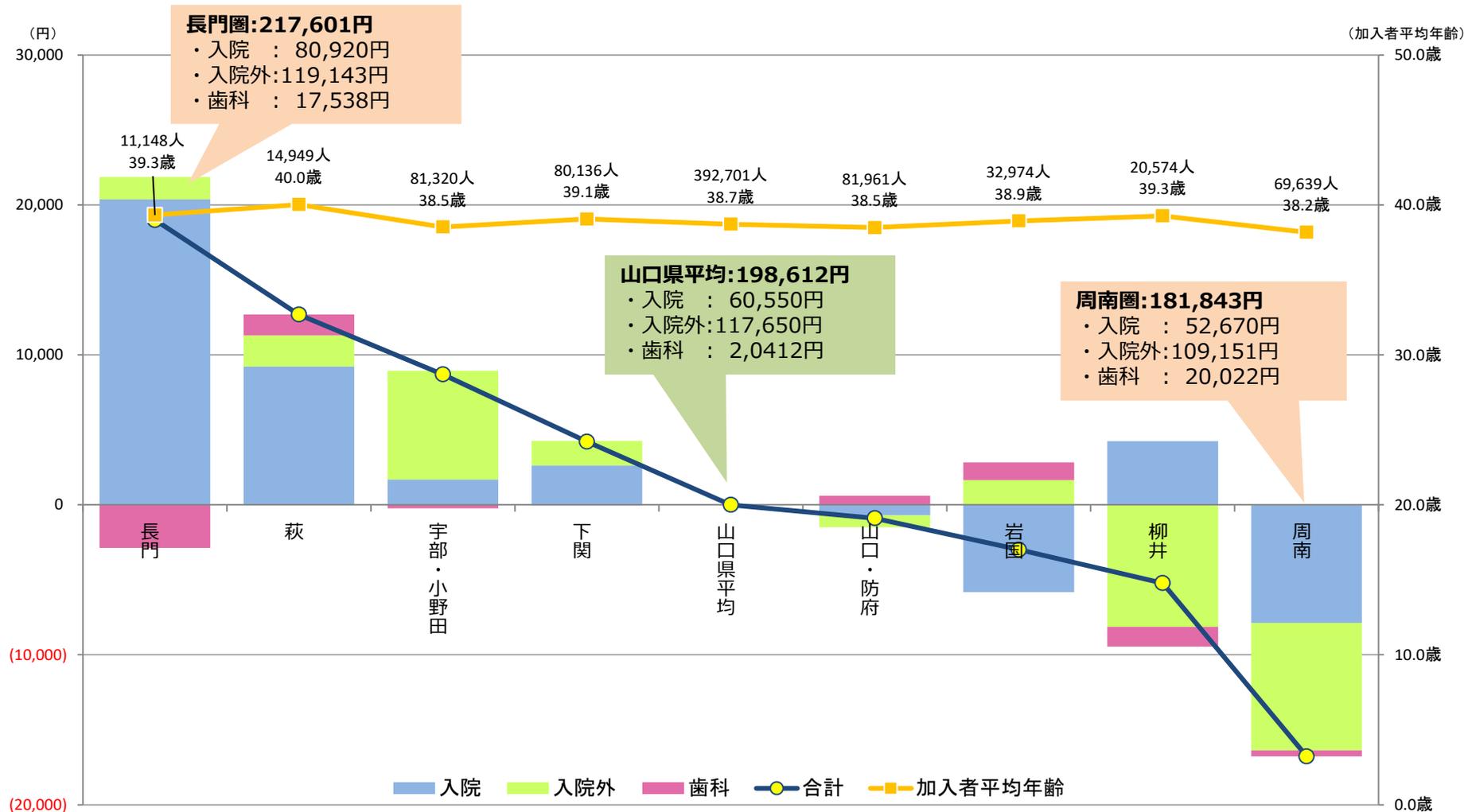
## ◆ 人口10万人対医師数



### Ⅲ.山口支部医療費の県内での比較

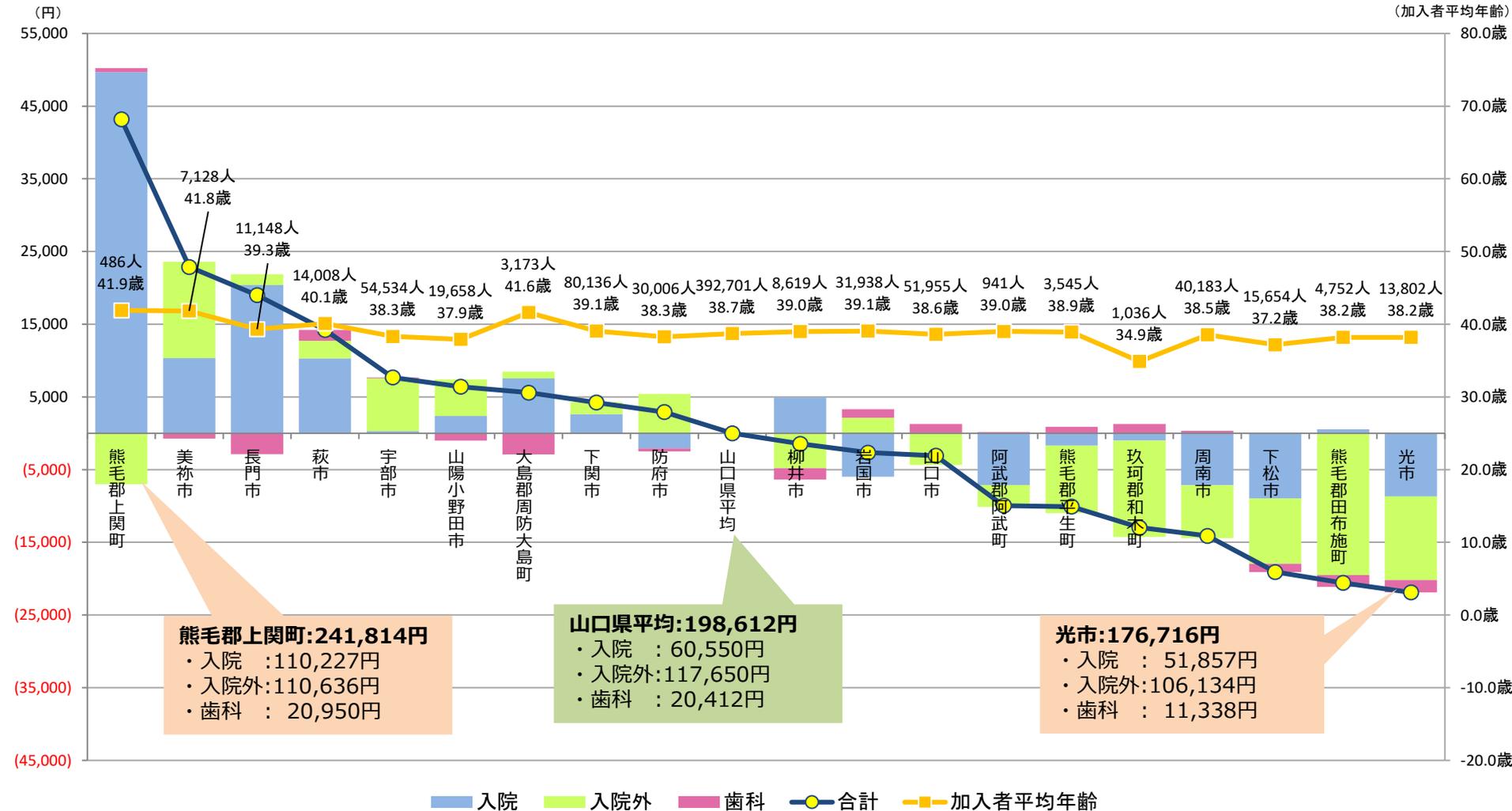
# 山口支部加入者1人あたりの二次医療圏別各医療費の比較（令和元年度）

二次医療圏別で見た場合、1人あたりの入院および入院外医療費は、**長門圏、萩圏**が高く、**周南圏、柳井圏**が低い傾向にあります。  
 宇部・小野田圏は1人あたりの入院医療費は山口県平均より少し高い程度ですが、入院外医療費が高いため、トータルで高くなっています。  
 ※加入者の住所地ベースです。縦軸は山口県平均との差で、単位は円です。加入者平均年齢の上の数字は月平均加入者数です。



# 山口支部加入者1人あたりの市町別各医療費の比較（令和元年度）

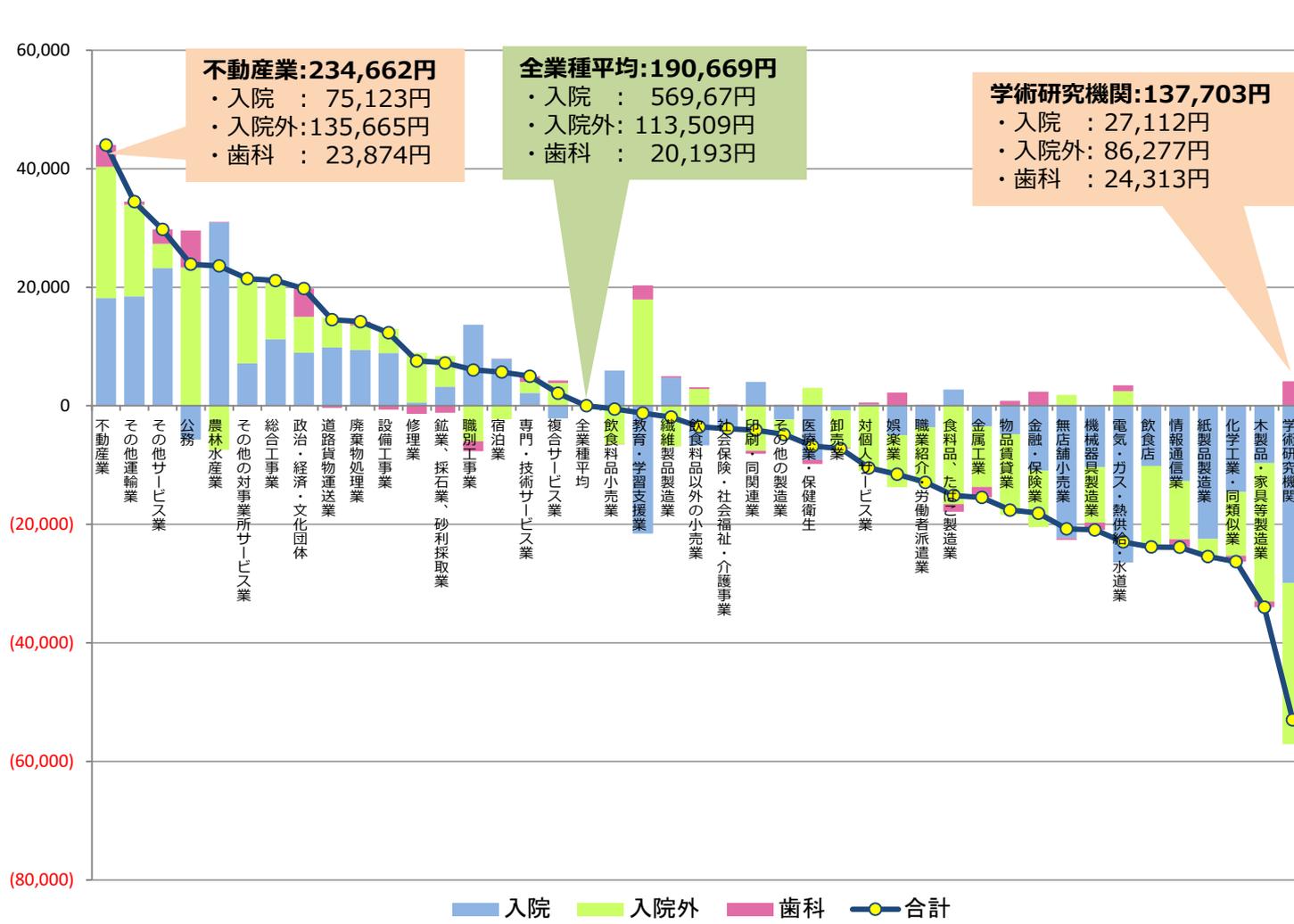
市町別で見た場合、1人あたりの医療費は高いほうから、**熊毛郡上関町、美祢市、長門市**の順となっています。  
 ただし、表のとおり郡部は加入者数自体が少ないため、一人でも高額な医療を受けた場合、その影響が全体に及びやすいことから、参考値として認識した方が適切と考えられます。市部で見ると、**美祢市（宇部小野田圏）、長門市、萩市（長門圏、萩圏）**が高く、**周南市、下松市、光市（すべて周南圏）**が低いことがわかります。  
 ※加入者の住所地ベースです。縦軸は山口県平均との差で、単位は円です。加入者平均年齢の上の数字は月平均加入者数です。



# 山口支部加入者1人あたりの事業所業態区分別各医療費の比較（令和元年度）

事業所の業態別に一人当たり医療費の比較をしたグラフです。事業所業態区分別で見た場合、1人あたりの医療費は高いほうから、**不動産業、その他運輸業、その他のサービス業、公務、農林水産業**の順となっています。

ただし、表のとおり、**学術研究機関**や**無店舗小売業**等の加入者数の少ない事業所は一人でも高額な医療を受けた場合、その影響が全体に及びやすいことから、参考値として認識した方が適切と考えられます。（※縦軸は全業種平均との差で、単位は円です。）



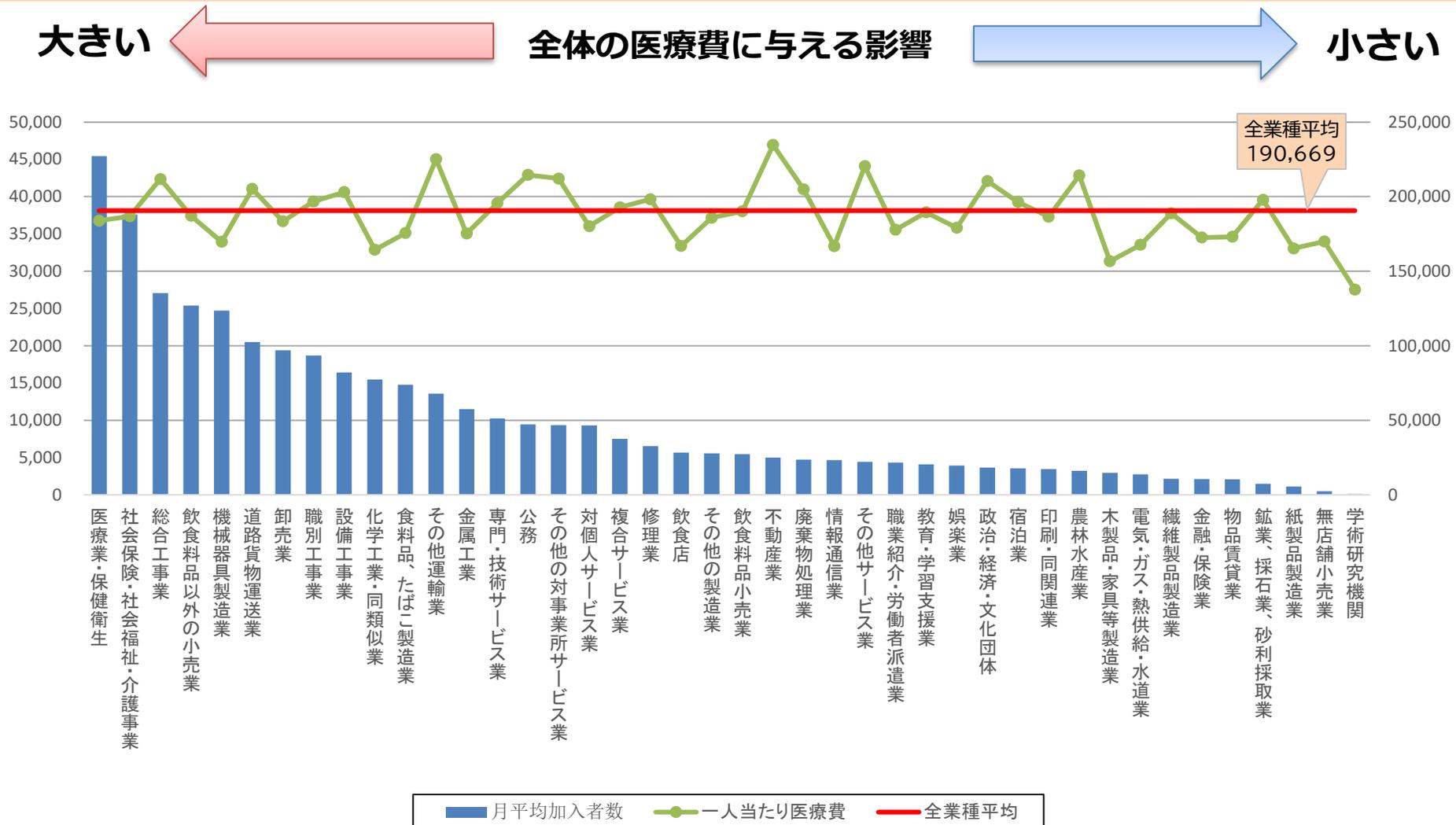
業態	平均加入者数	加入者平均年齢
医療業・保健衛生	45,417	36.9
社会保険・社会福祉・介護事業	37,610	38.3
総合工事業	27,054	39.3
飲食品以外の小売業	25,374	38.7
機械器具製造業	24,716	35.3
道路貨物運送業	20,488	39.8
卸売業	19,398	37.0
職別工事業	18,676	35.6
設備工事業	16,405	36.7
化学工業・同類似業	15,488	35.2
食料品、たばこ製造業	14,762	38.2
その他運輸業	13,572	41.7
金属工業	11,497	34.7
専門・技術サービス業	10,256	38.3
公務	9,464	49.2
その他の対事業所サービス業	9,357	43.6
対個人サービス業	9,324	36.4
複合サービス業	7,502	37.7
修理業	6,553	37.3
飲食店	5,682	37.0
その他の製造業	5,560	37.5
飲食品小売業	5,472	39.2
不動産業	4,987	40.4
廃棄物処理業	4,729	38.3
情報通信業	4,677	35.0
その他サービス業	4,440	40.3
職業紹介・労働者派遣業	4,347	38.9
教育・学習支援業	4,091	39.1
娯楽業	3,946	37.9
政治・経済・文化団体	3,657	43.9
宿泊業	3,568	40.4
印刷・同関連業	3,466	37.3
農林水産業	3,235	39.0
木製品・家具等製造業	2,968	37.0
電気・ガス・熱供給・水道業	2,777	35.9
繊維製品製造業	2,142	39.1
金融・保険業	2,131	39.1
物品賃貸業	2,090	36.0
鉱業・採石業、砂利採取業	1,502	36.6
紙製品製造業	1,128	35.0
無店舗小売業	474	35.1
学術研究機関	118	42.8

# 山口支部加入者1人あたりの事業所業態区分別各医療費の比較（令和元年度）

前項でお示しました、事業所業態別の一人あたり医療費のグラフを月平均加入者数の多い順に左から並べ替えてお示しています。こうすることで、各業態の医療費が全体の医療費にどの程度の影響を与えているかがわかります。

加入者が多い業態のうち、医療業・保健衛生、社会保険・社会福祉・介護事業、機械器具製造業については一人あたり医療費が少ないことがわかりますが、総合工事業、道路貨物運送業等については一人あたり医療費が高いため、全体の医療費の多さに大きな影響を与える結果となっています。

※縦軸は全業種平均との差で、単位は円です。



## IV.山口支部健診結果データの全国との比較

# リスク保有率とは…

リスク保有率とは、健診結果をもとに健診受診者のうち下表の基準に該当する方の割合を示したものです。リスク保有率が高いほど、生活習慣病にかかる可能性が高いといわれています。

## ◆リスク保有率とは…

①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・ ②かつ③～⑤のうち2項目以上に該当
②腹囲のリスク保有率	・ 内臓脂肪面積が100cm <sup>2</sup> 以上 ・ 内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
③血圧のリスク保有率	・ 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
④脂質のリスク保有率	・ 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
⑤代謝のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・ 空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
⑥喫煙者の割合（参考）	・ 喫煙あり
⑦BMIのリスク保有率	・ BMI 25以上
⑧中性脂肪のリスク保有率（参考）	・ 中性脂肪150mg/dl以上
⑨HDLコレステロールのリスク保有率（参考）	・ HDLコレステロール40mg/dl未満
⑩空腹時血糖のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上

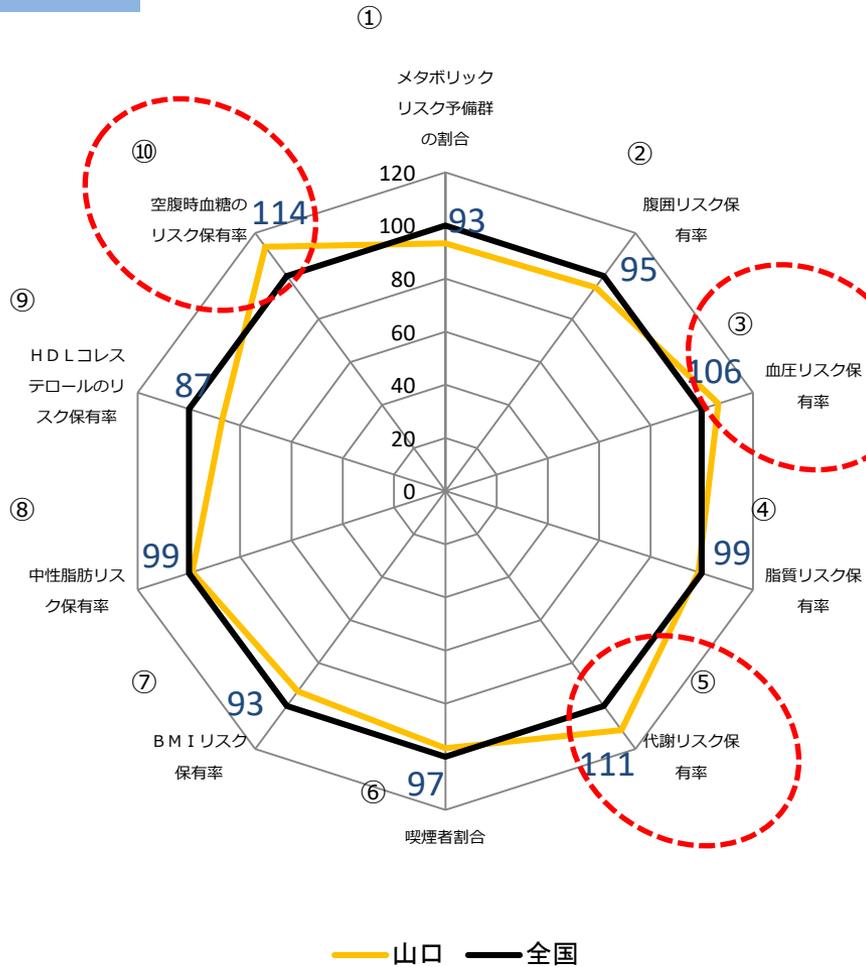
➤ 上記のリスク保有基準を踏まえ、次ページから各項目のリスク保有率についてみてみましょう。

# 各種リスク保有率の全国比較（令和元年度）

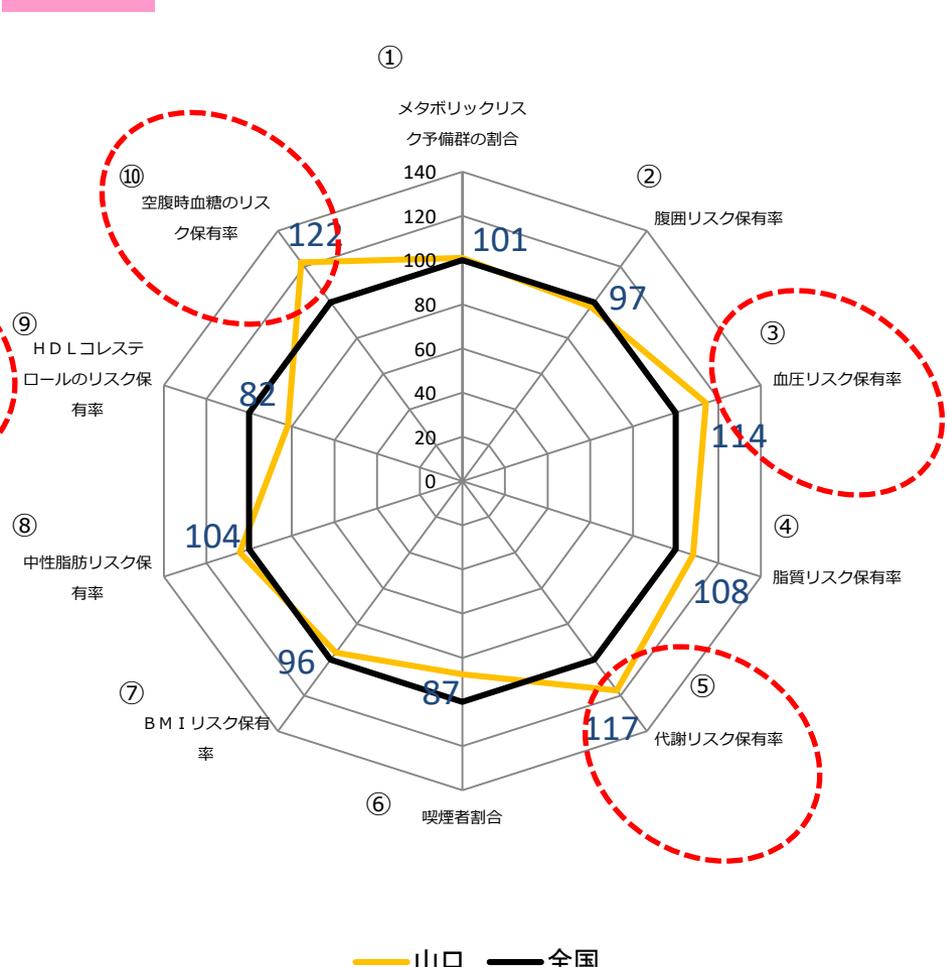
健診結果データをもとに各種リスク保有率を算出し、全国を100とした場合（下図の黒線）、山口支部は下図の黄色線になります。男女ともに代謝リスク保有率、空腹時血糖リスク保有率、血圧リスク保有率が高い傾向にあります。

➤次ページからこれら3つのリスク保有率について詳しく見てみましょう。

## 男性



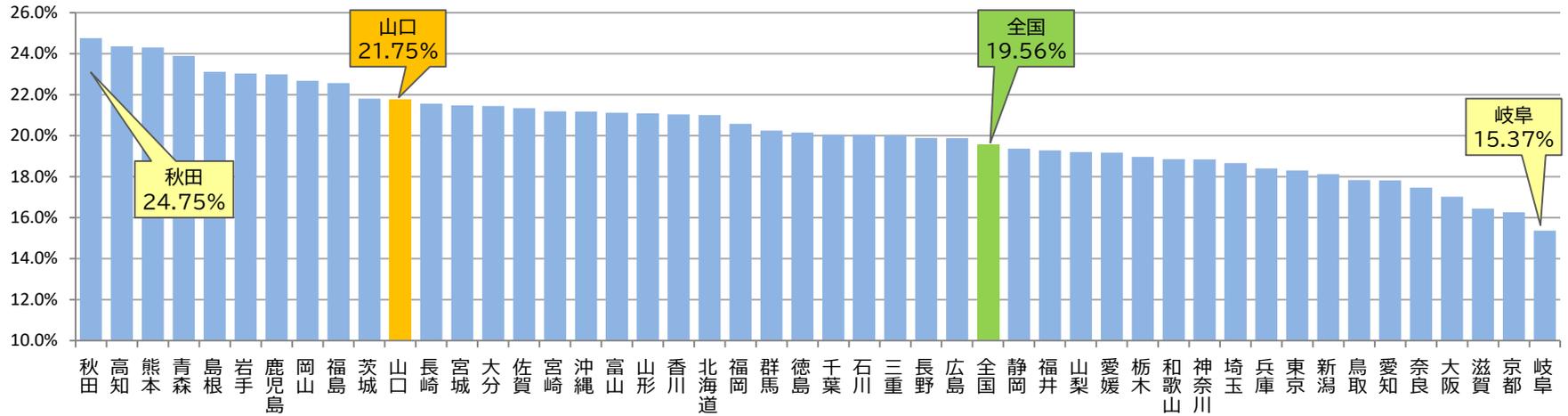
## 女性



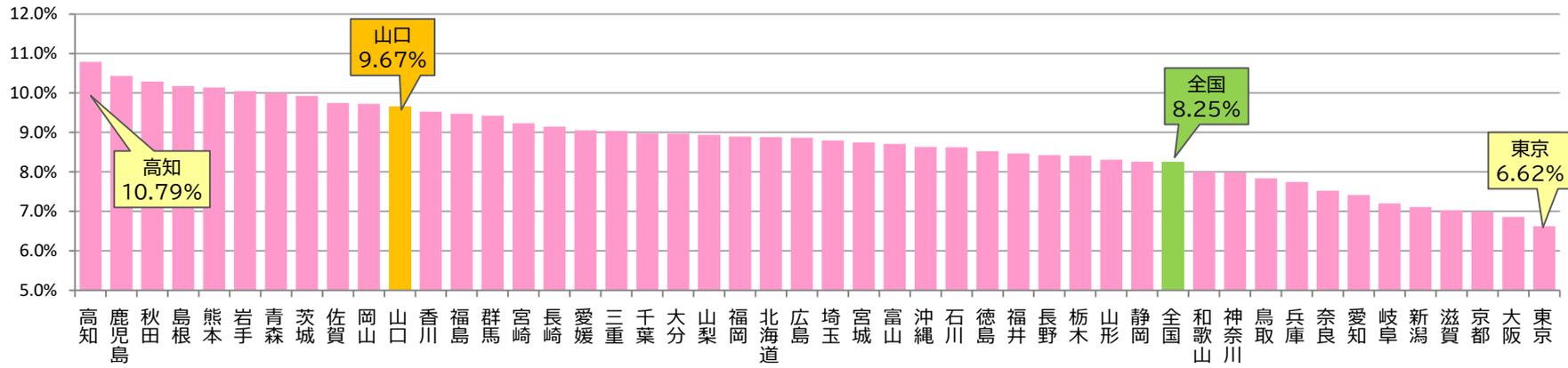
# 代謝リスク保有率の全国比較（令和元年度）

代謝リスク保有率について、山口支部は男女ともに全国11位と高い水準にあります。

## 男性



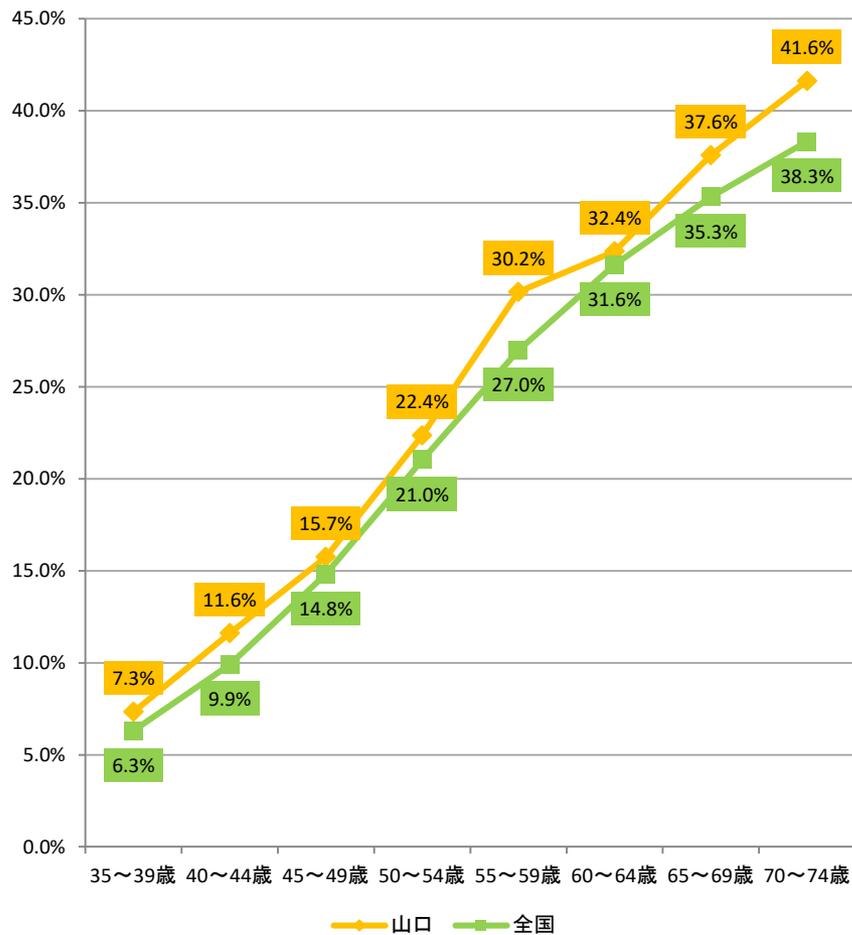
## 女性



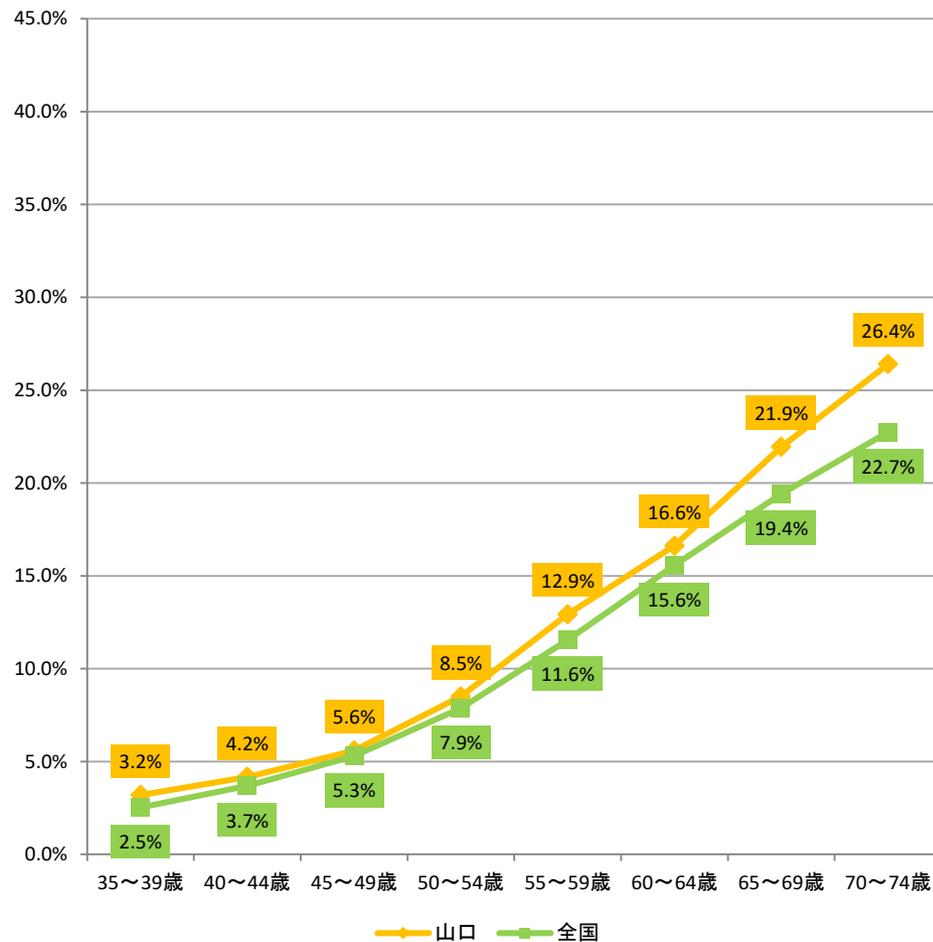
## 代謝リスク保有率の年齢階級別比較（令和元年度）

代謝リスク保有率について、山口支部は男女ともに全国平均よりも高い傾向にあり、55歳以降が顕著です。

## 男性



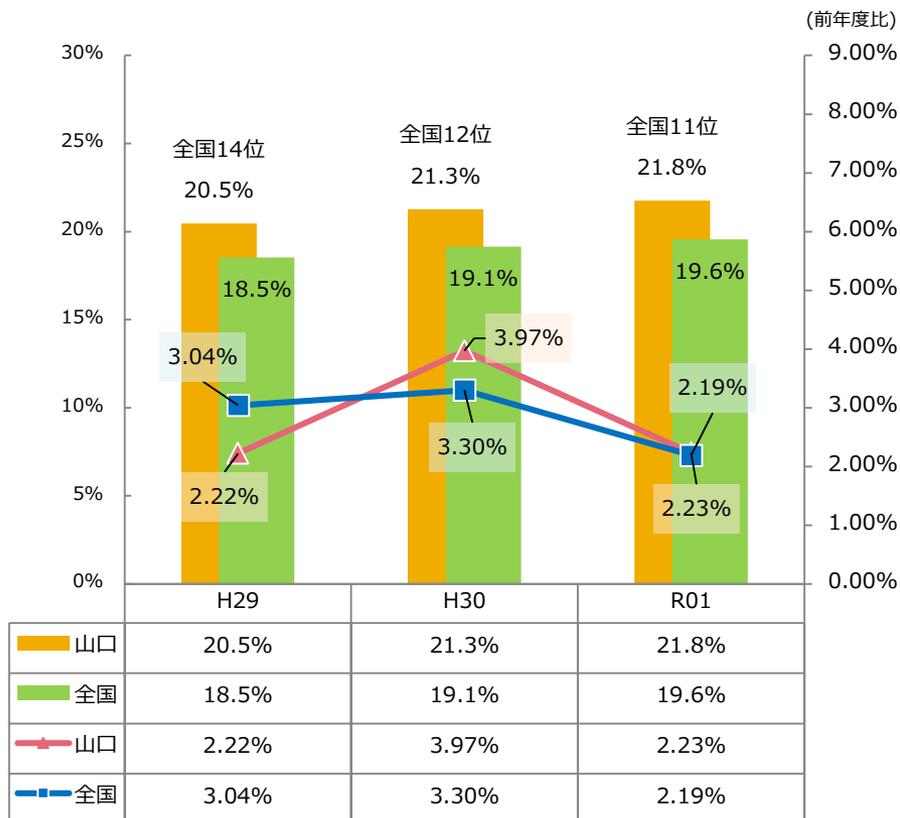
## 女性



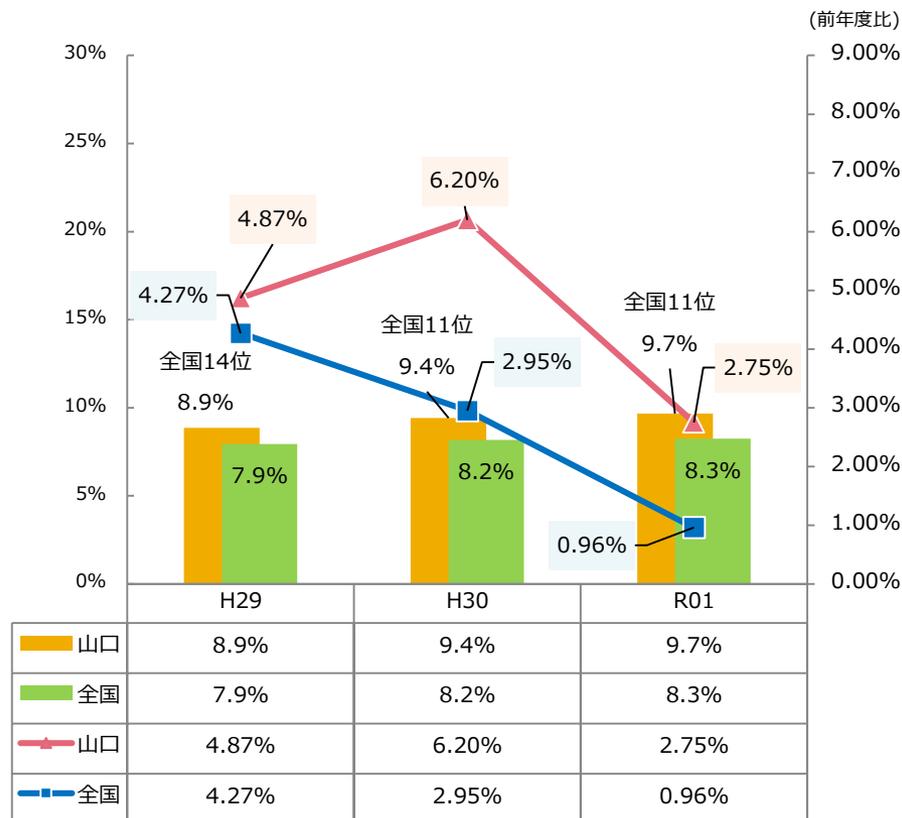
# 山口支部代謝リスク保有率の経年変化

男女とも**全国11位**と高い水準にあります。毎年男女ともに緩やかな増加傾向にあります。

## 代謝リスク保有率の経年変化（男性）



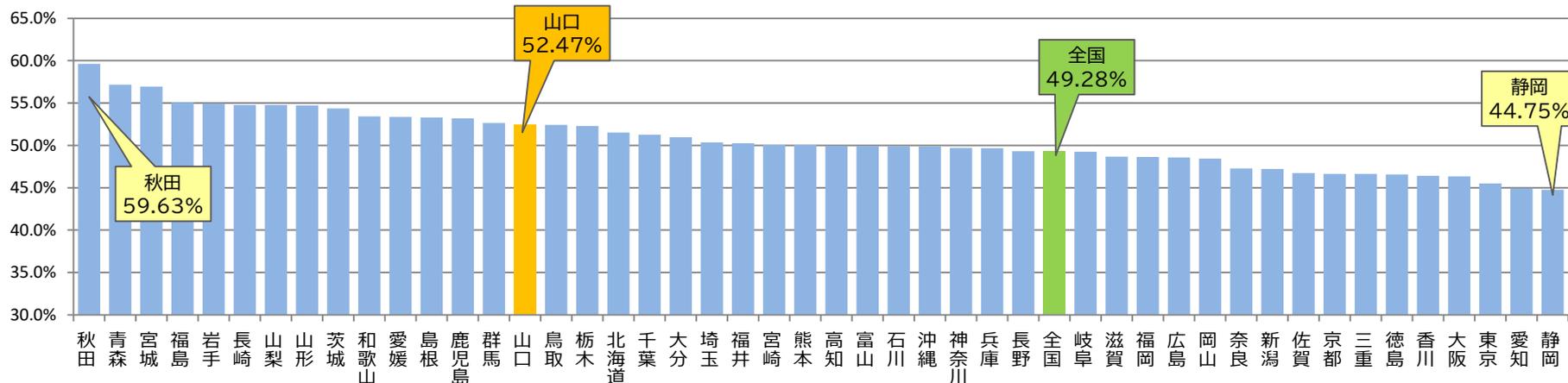
## 代謝リスク保有率の経年変化（女性）



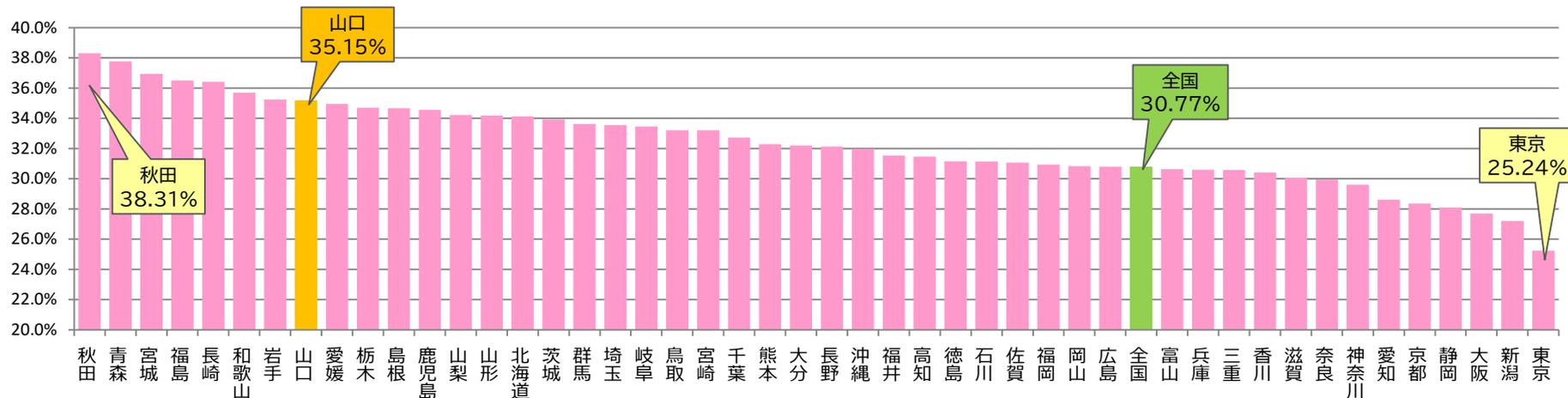
# 血圧リスク保有率の全国比較（令和元年度）

血圧リスク保有率について、山口支部は**男性は全国15位、女性は全国8位と高い水準**にあります。

## 男性



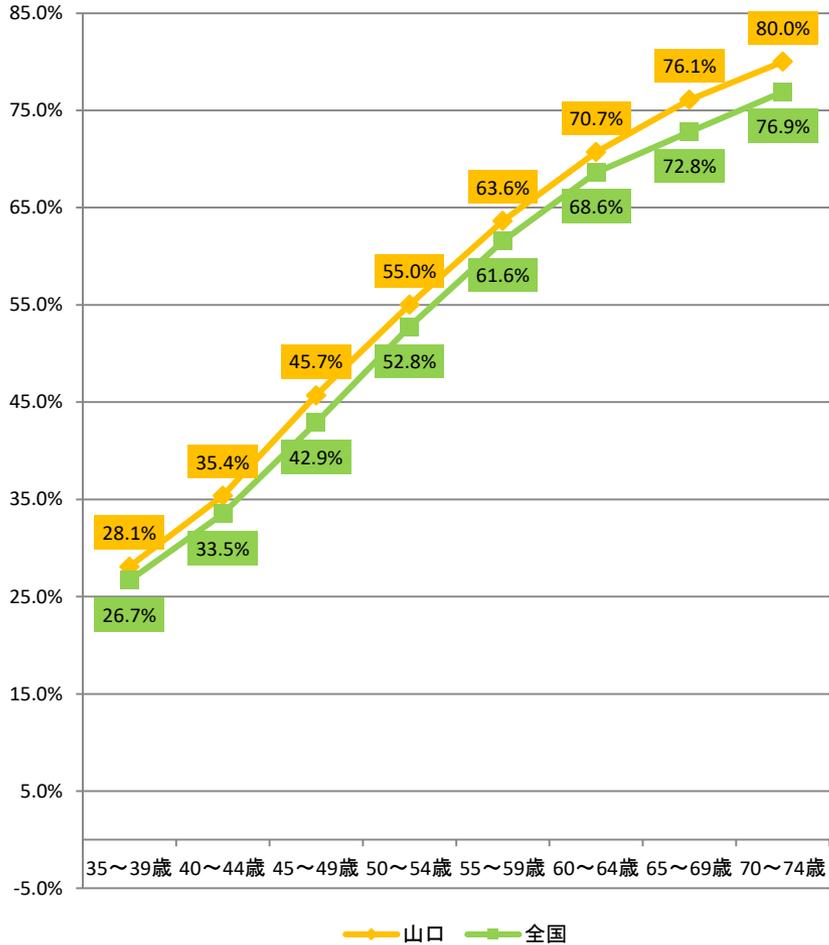
## 女性



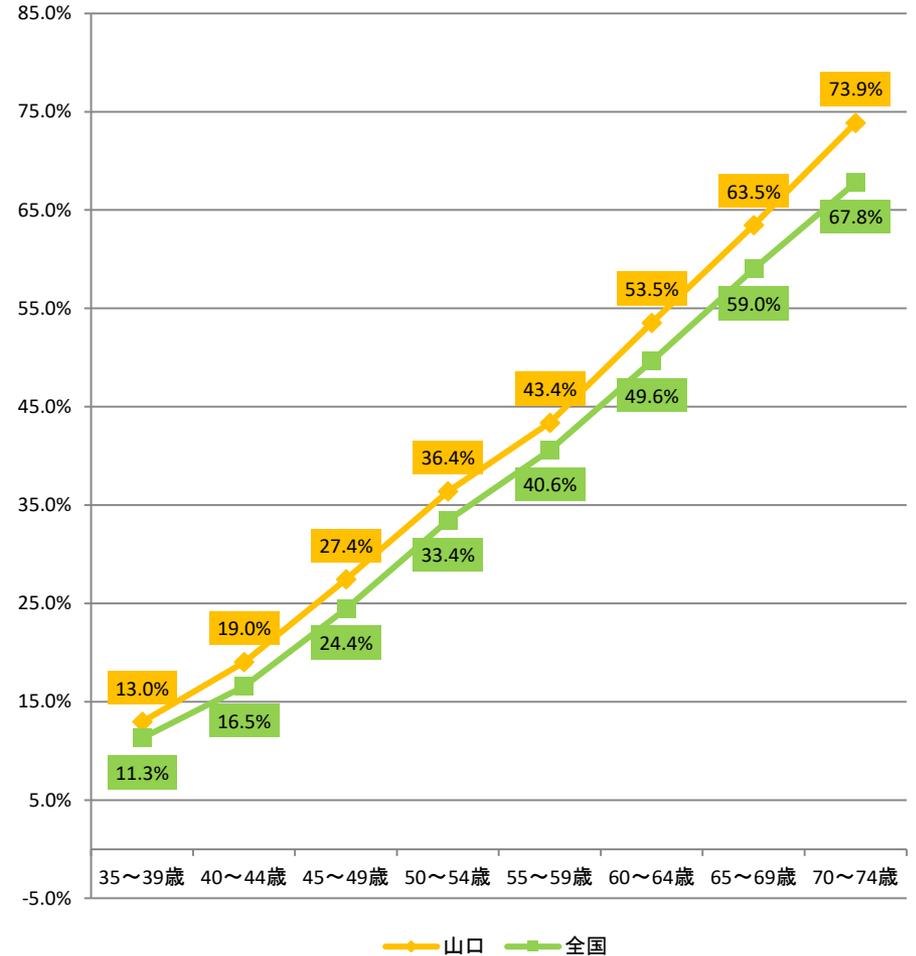
# 血圧リスク保有率の年齢階級別比較（令和元年度）

血圧リスク保有率について、山口支部は男女とも全国平均よりも高い水準にあります。特に男性は65歳以降、女性は60歳以降で全国との差が広がる傾向があります。

## 男性



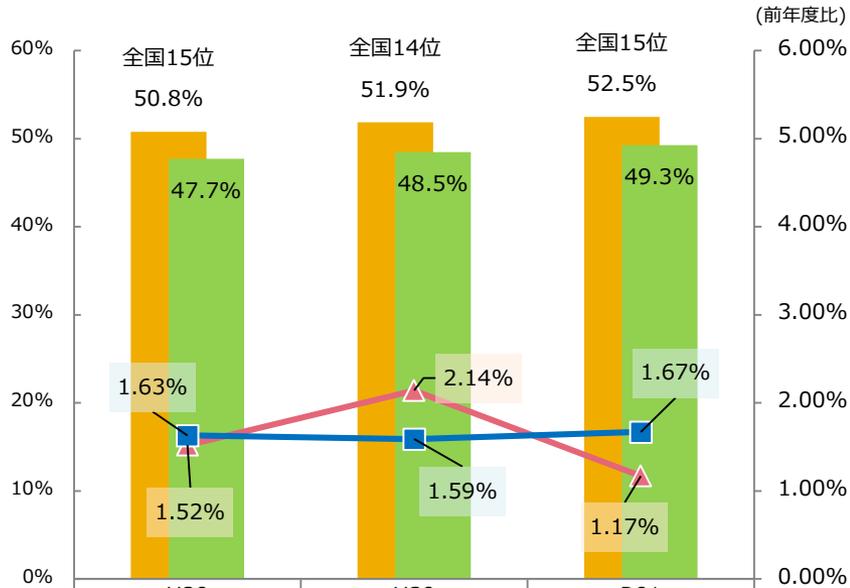
## 女性



# 山口支部 血圧リスク保有率の経年変化

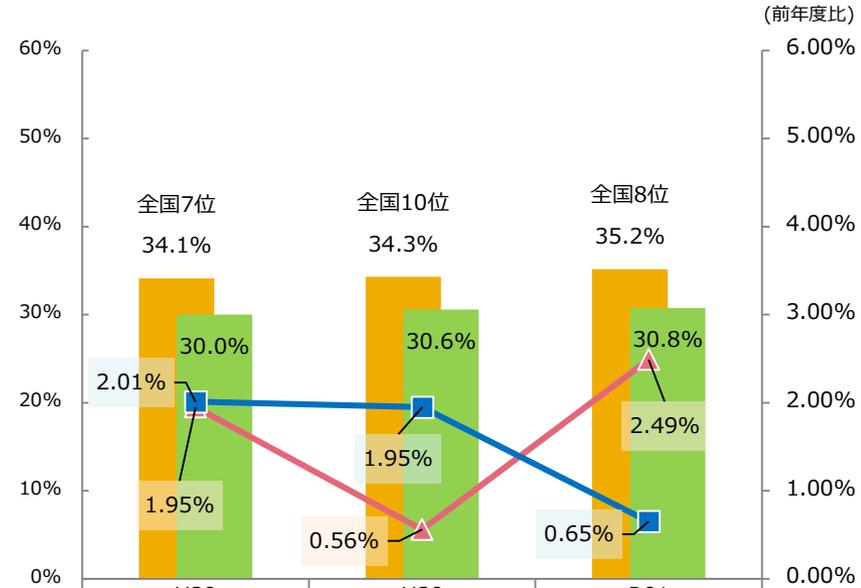
毎年、男女ともに緩やかな増加傾向にあります。

## 血圧リスク保有率の経年変化（男性）



山口	50.8%	51.9%	52.5%
全国	47.7%	48.5%	49.3%
山口	1.52%	2.14%	1.17%
全国	1.63%	1.59%	1.67%

## 血圧リスク保有率の経年変化（女性）

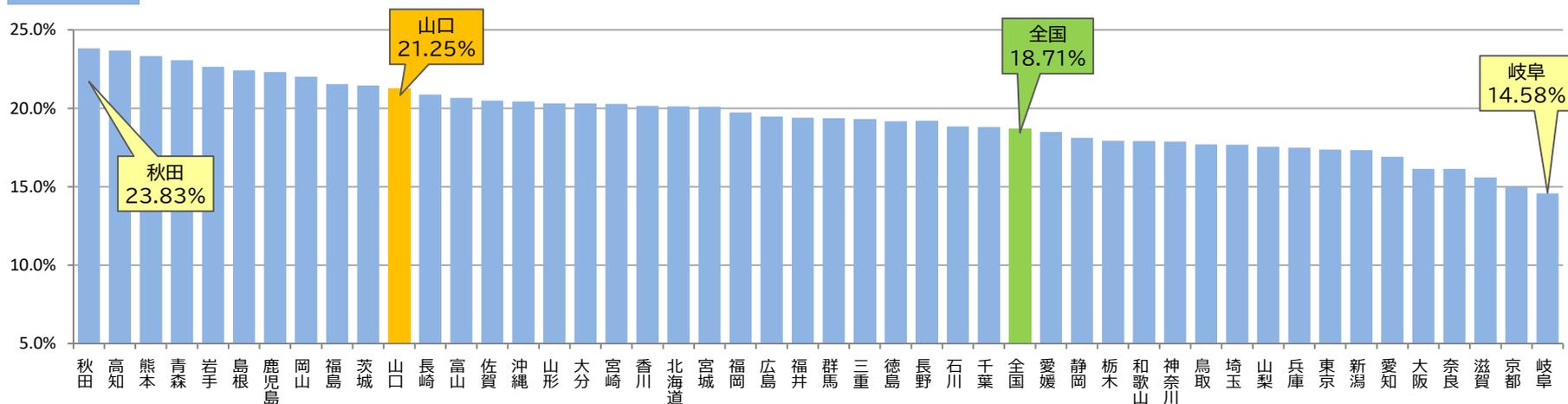


山口	34.1%	34.3%	35.2%
全国	30.0%	30.6%	30.8%
山口	1.95%	0.56%	2.49%
全国	2.01%	1.95%	0.65%

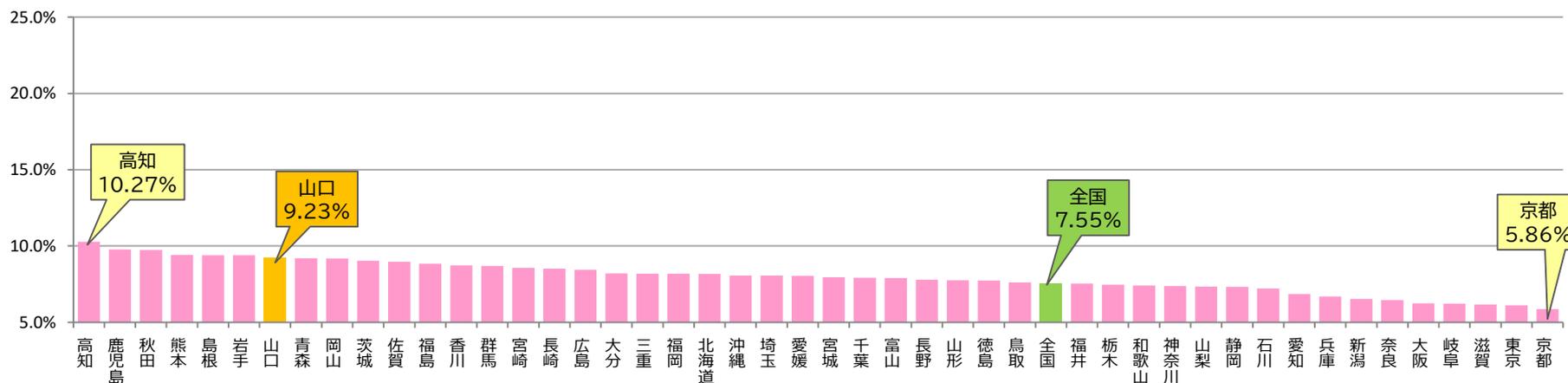
## 【参考】空腹時血糖リスク保有率の全国比較（令和元年度）

※空腹時血糖は代謝リスクを判定する際の基準として用いられていますので、参考資料として掲載しています。  
空腹時血糖リスク保有率について、山口支部は男女とも高い水準にあります。

## 男性



## 女性

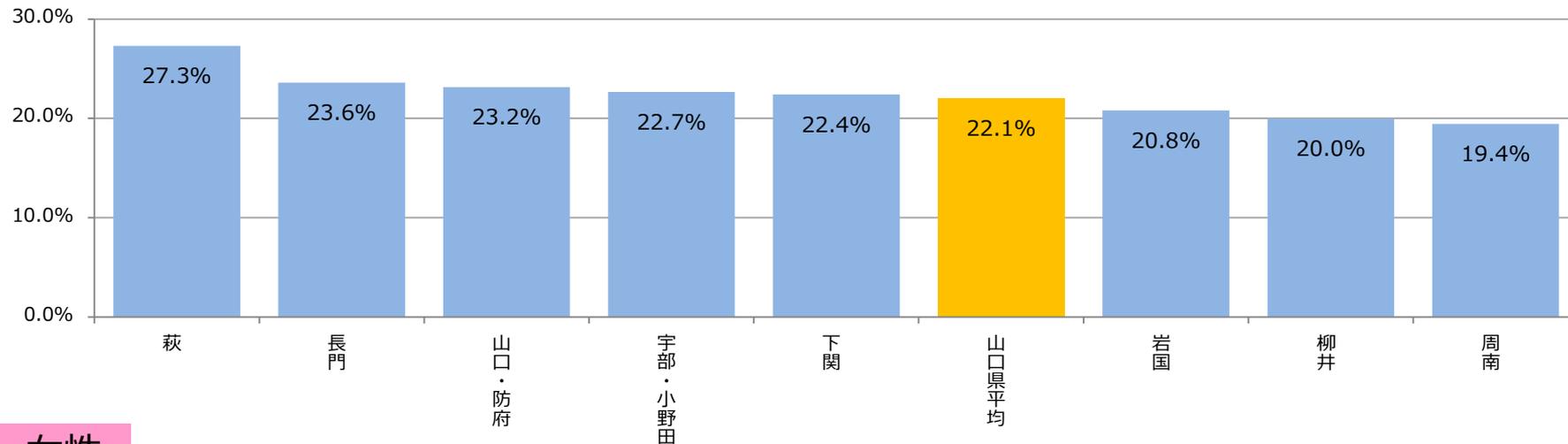


## V.山口支部健診結果データの県内での比較

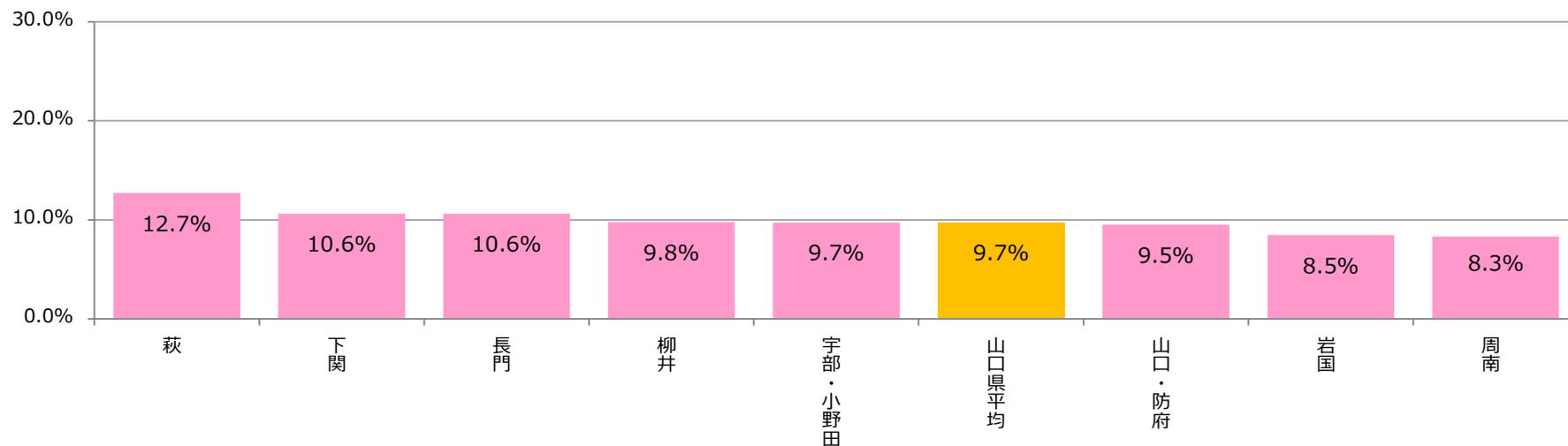
## 代謝リスク保有率の二次医療圏別比較（令和元年度）

男性は、萩圏・長門圏・山口・防府圏が比較的高く、周南圏・柳井圏が低い傾向にあります。女性は、萩圏・下関圏・長門圏が高く、岩国圏・周南圏が低い傾向にあります。

## 男性



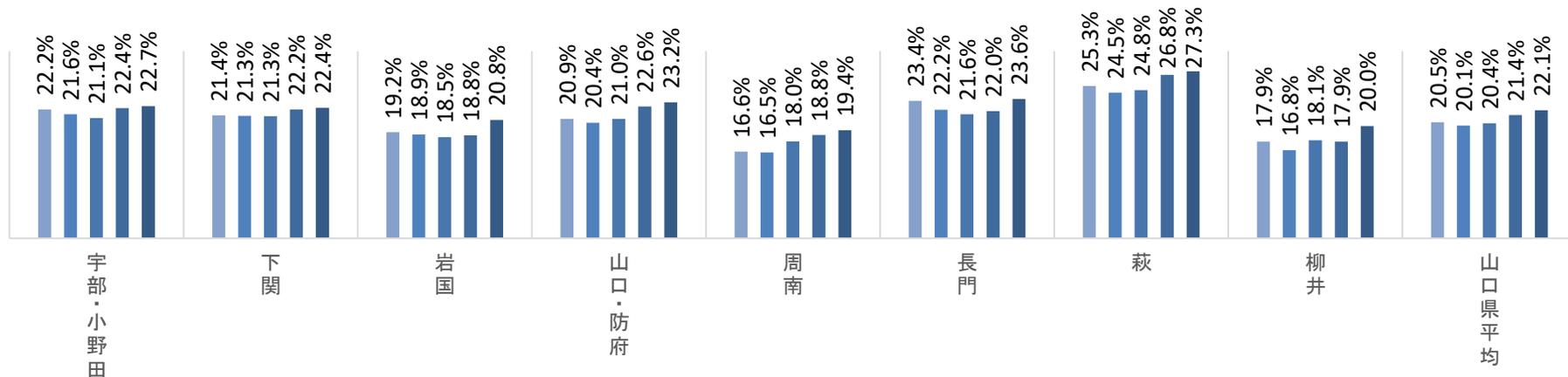
## 女性



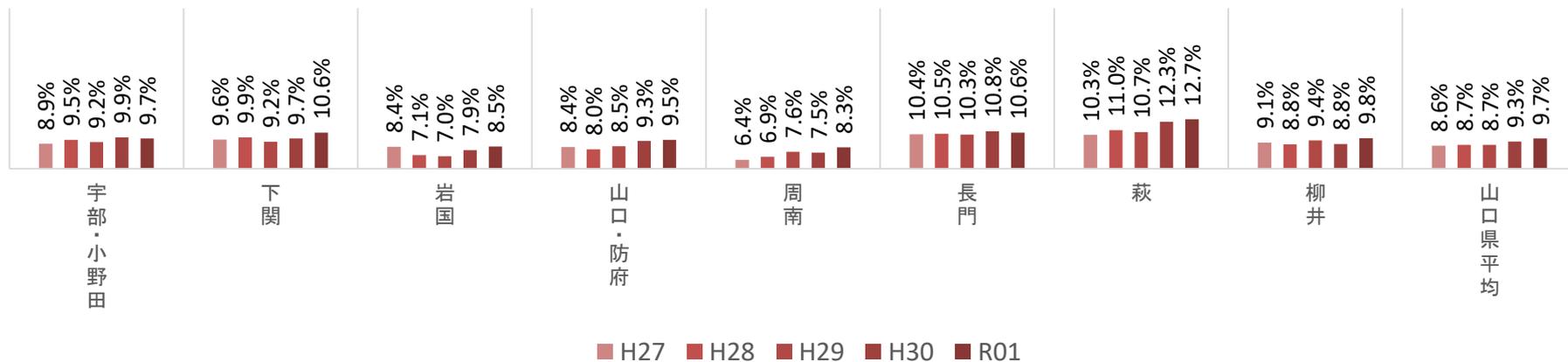
## 山口支部代謝リスク保有率の二次医療圏別経年変化

全市町5年前と比べて男女とも増加傾向にあります。

## 男性



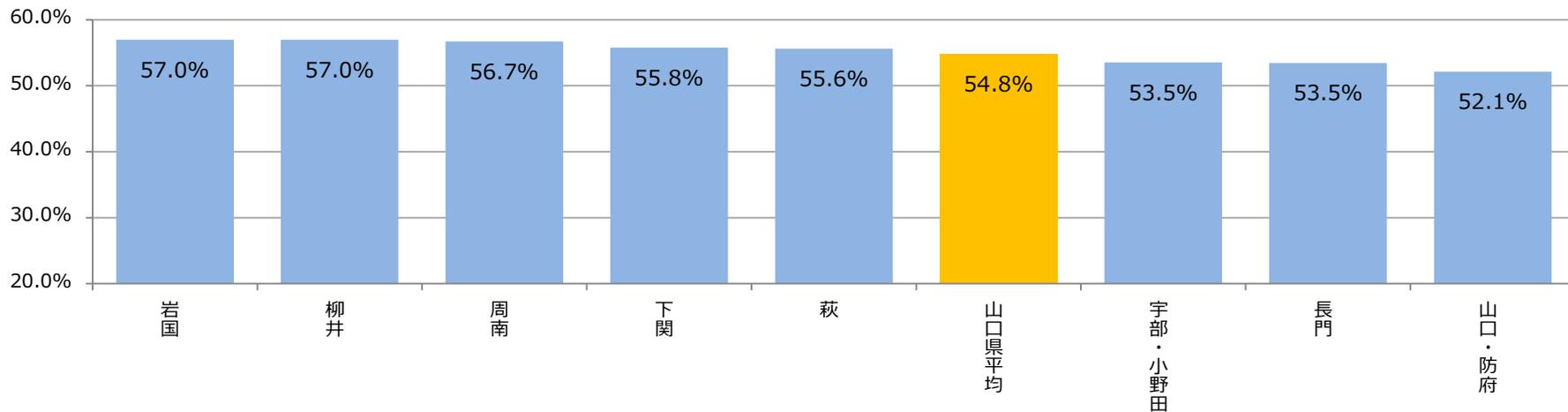
## 女性



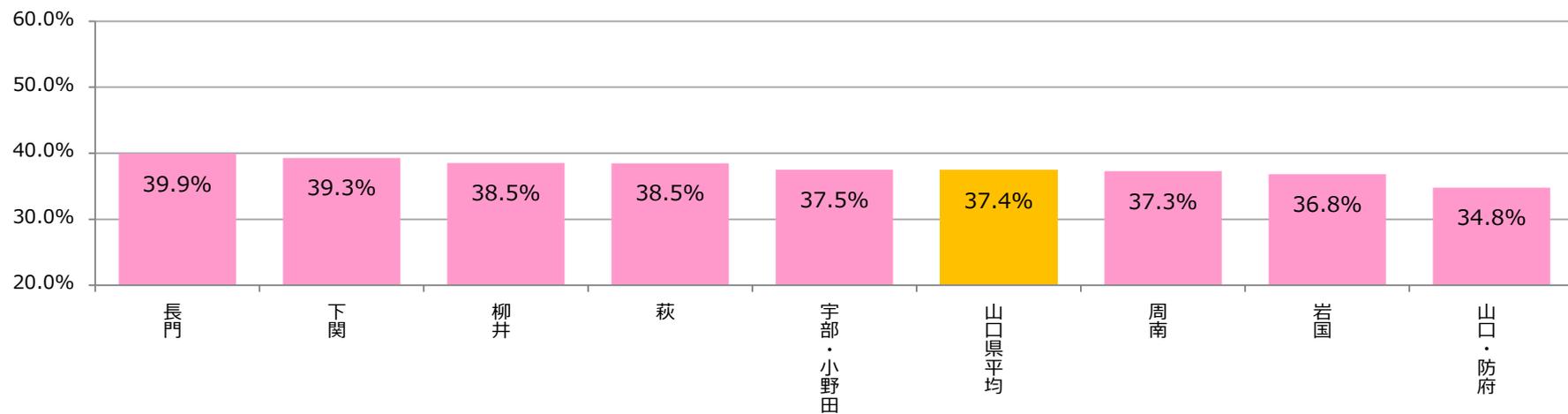
# 血圧リスク保有率の二次医療圏別比較（令和元年度）

男性は岩国圏・柳井圏、女性は長門圏・下関圏が比較的高く、男女共に山口・防府圏が低い傾向にあります。

## 男性



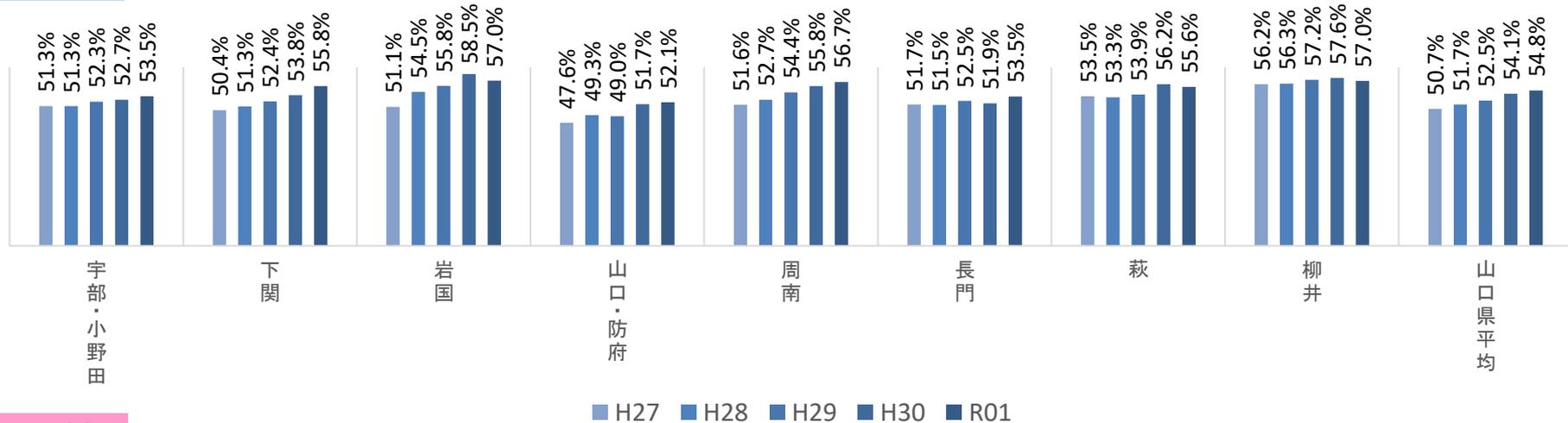
## 女性



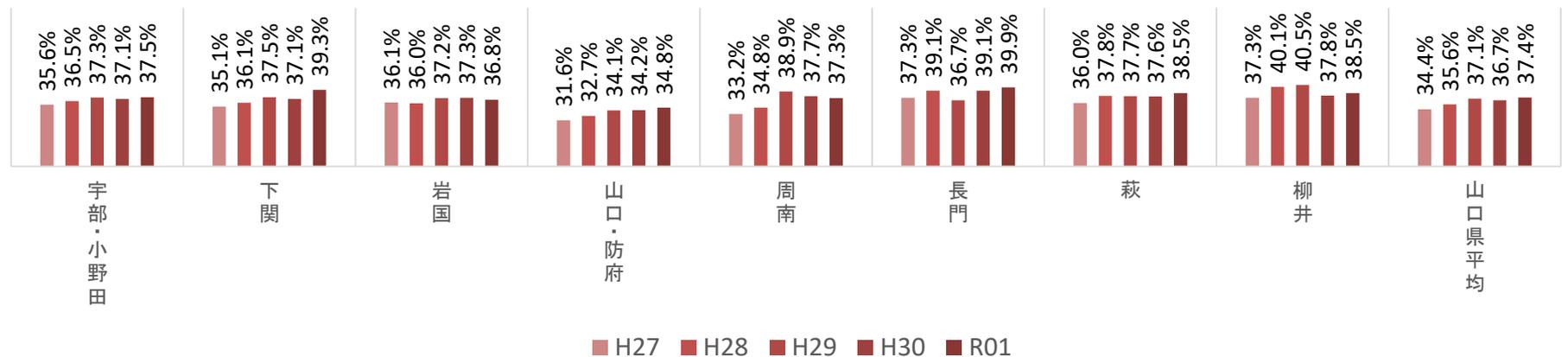
# 山口支部 血圧リスク保有率の二次医療圏別経年変化

全市町5年前と比べて男女とも増加傾向にあります。中でも岩国圏の男性と周南圏の男女は顕著です。

## 男性



## 女性



## 山口支部加入者1人あたりの各医療費の市町別経年変化※年齢調整前

月平均加入者数が多い市町順に左から並べています。郡部や小規模の市部については加入者数自体が少ないため、増減が大きくなりやすい傾向があります。市部で見ると、**長門市**の医療費が大きく増加しているほか、郡部では**玖珂郡和木町**、**大島郡周防大島町**、**熊毛郡平生町**が前年度から増加していることもあり、**山口県平均**も微増しています。

## ◆山口支部加入者1人あたりの市町別医療費の経年変化

(円)

300,000

250,000

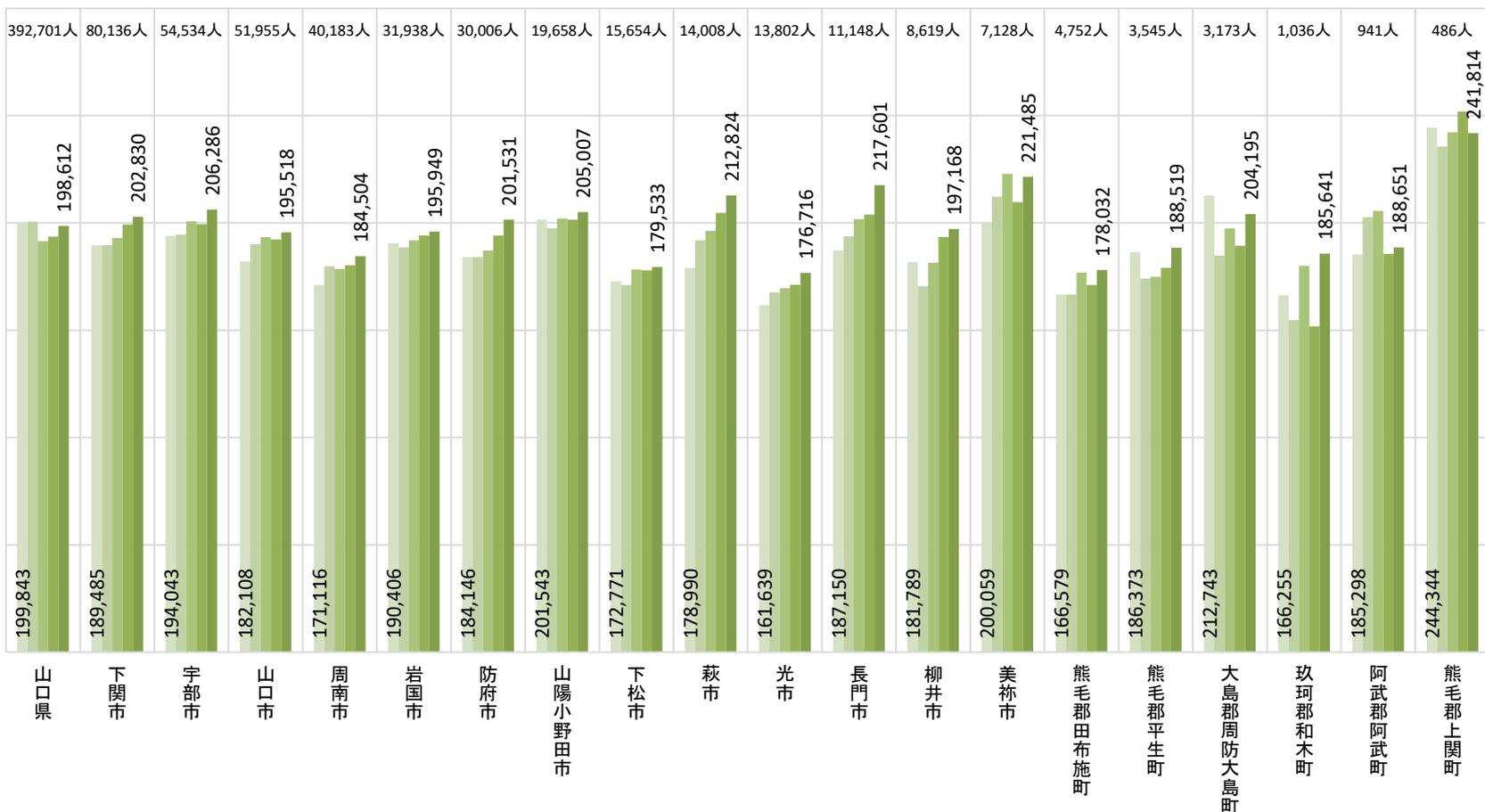
200,000

150,000

100,000

50,000

0

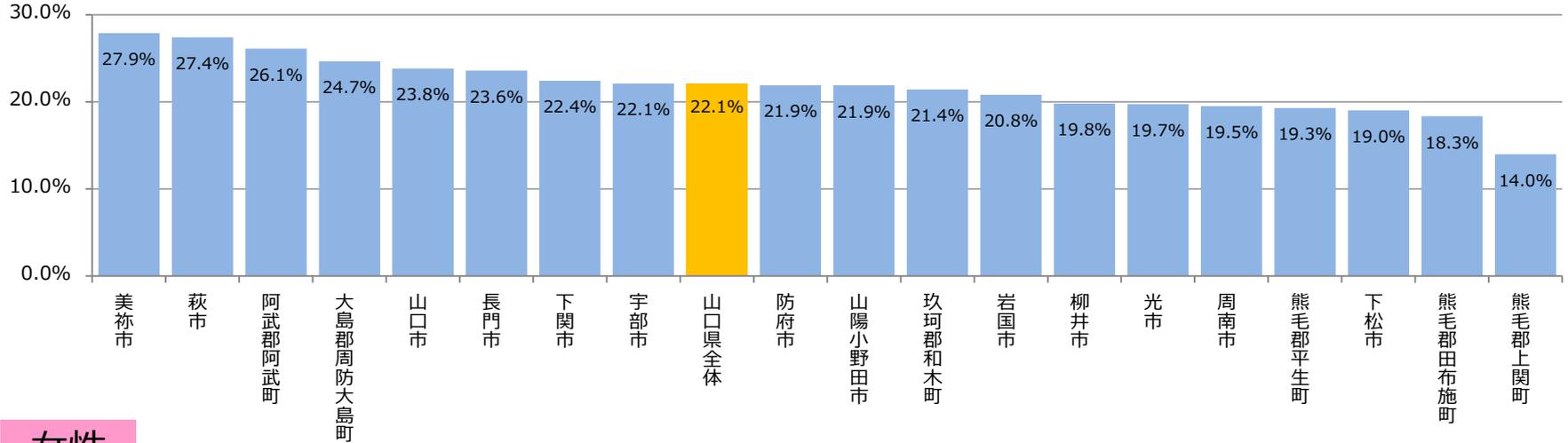


■ H27 ■ H28 ■ H29 ■ H30 ■ R01

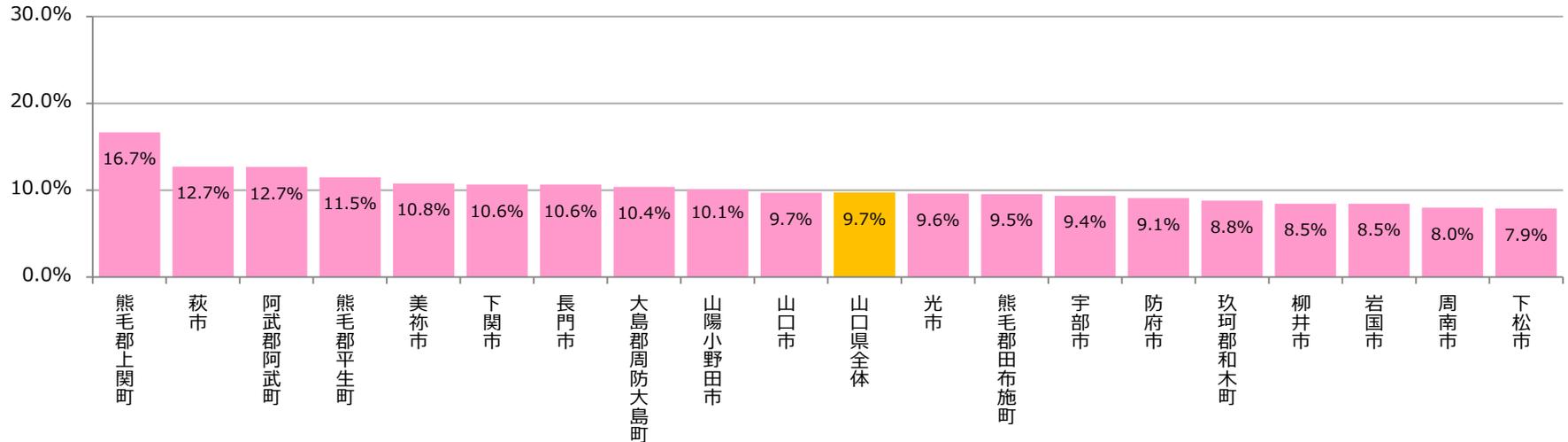
# 代謝リスク保有率の市町別比較（令和元年度）

男性は、美祢市・萩市が比較的高く熊毛郡上関町が低い傾向にあります。女性は熊毛郡上関町が高く、下松市・周南市が低い傾向にあります。

## 男性



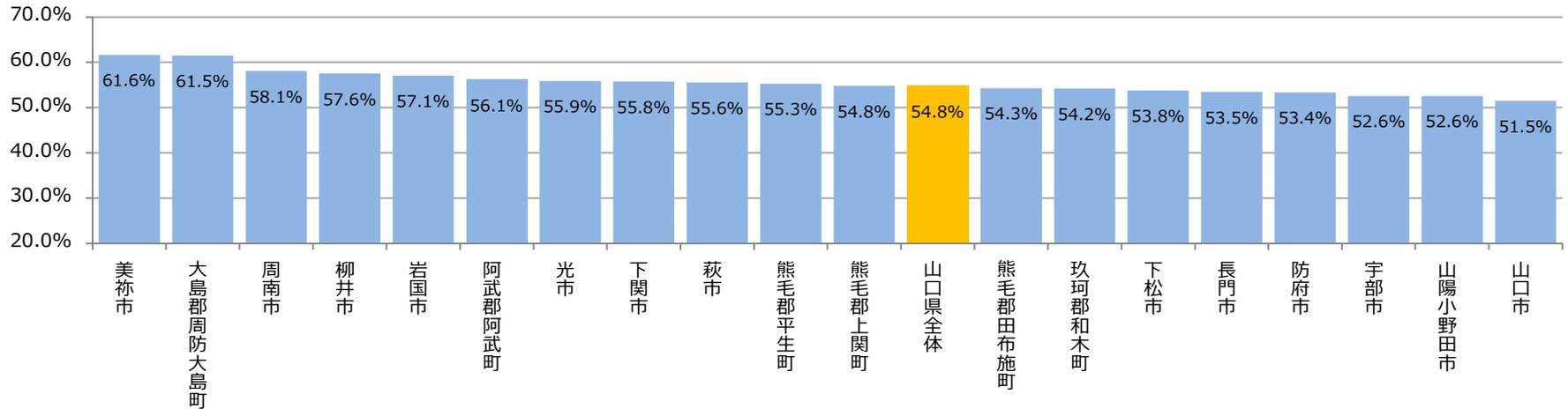
## 女性



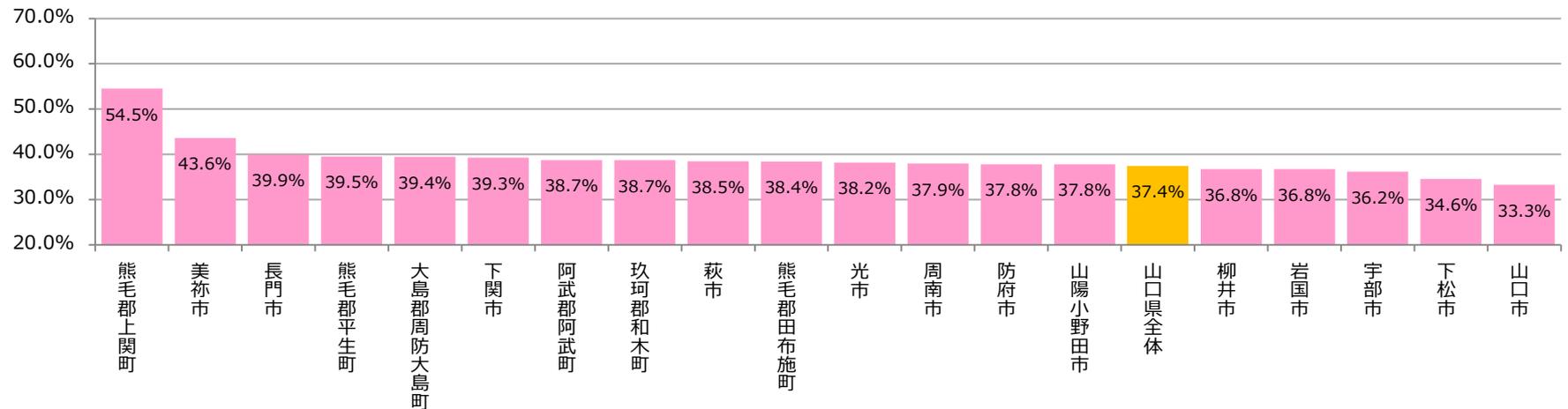
# 血圧リスク保有率の市町別比較（令和元年度）

男性は、美祢市・大島郡周防大島町が比較的高く山口市が低い傾向にあります。女性は熊毛郡上関町が高く、山口市・下松市が低い傾向にあります。

## 男性



## 女性



## 健診受診時の質問票（問診票）

生活習慣病予防健診等の特定健診受診時に質問票（問診票）として、下記の共通の項目について回答をいただいております。これにより、当日の健診結果に加えて受診者様の服薬歴・病歴・生活習慣等の把握が可能となります。

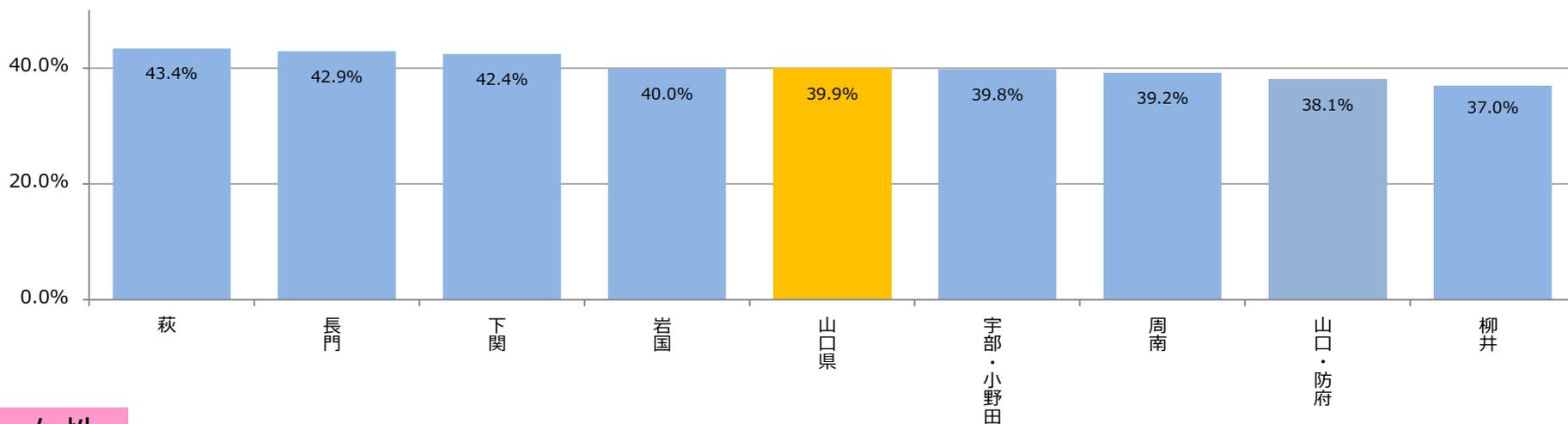
	質問項目	回答		質問項目	回答
	現在、aからcの薬の使用の有無				
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ	13	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	①何でもかんで食べることができる ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある ③ほとんどかめない
2	b. 血糖を下げる薬又はインスリン注射	①はい ②いいえ	14	人と比較して食べる速度が速い。	①速い ②ふつう ③遅い
3	c. コレステロールや中性脂肪を下げる薬	①はい ②いいえ	15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	①毎日 ②時々 ③ほとんど摂取しない
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
6	医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析など)を受けていますか。	①はい ②いいえ	18	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない(飲めない)
7	医師から貧血といわれたことがある。	①はい ②いいえ	19	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合(180ml)の目安:ビール500ml、 焼酎(25度)110ml、ウイスキーダブル1杯 (60ml)、ワイン2杯(240ml)	①1合未満 ②1~2合未満 ③2~3合未満 ④3合以上
8	現在、たばこを習慣的に吸っている。 ※(「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者)	①はい ②いいえ	20	睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ
9	20歳の時の体重から、10kg以上増加している。	①はい ②いいえ	21	運動や食生活等の生活習慣を改善しようと思いませんか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである(概ね6か月以内) ③近いうちに(概ね1か月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる(6か月未満) ⑤既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	①はい ②いいえ	22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	①はい ②いいえ
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	①はい ②いいえ			
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ			

> 上記の質問項目のうち、生活習慣の改善が必要となる主な5つの項目についての県内比較をみてみましょう。

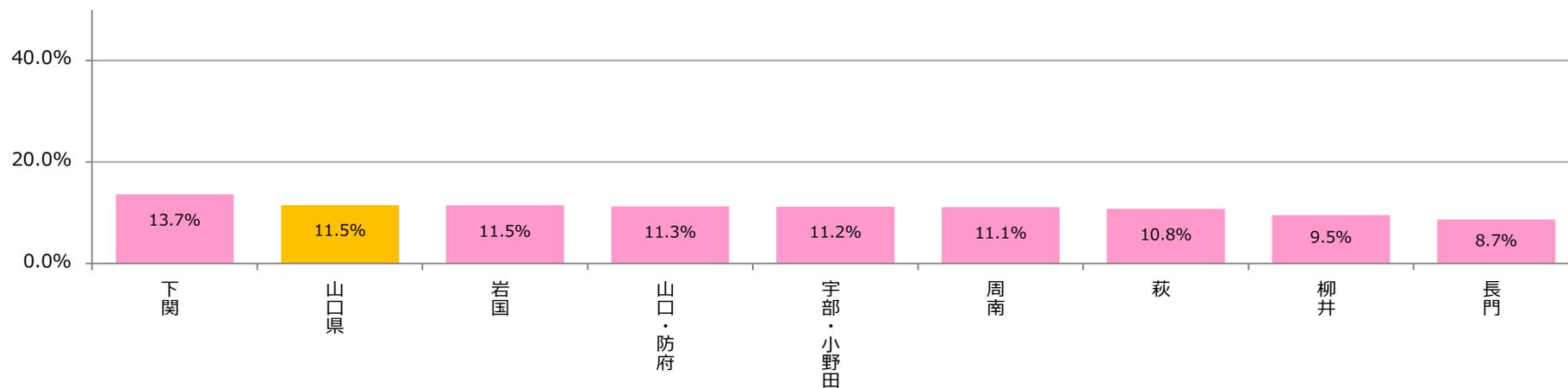
## 喫煙率の二次医療圏別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「煙草を習慣的に吸っている」と答えた方の割合です。  
男性では萩圏、長門圏、下関圏、女性では下関圏が高い傾向にあります。

## 男性



## 女性

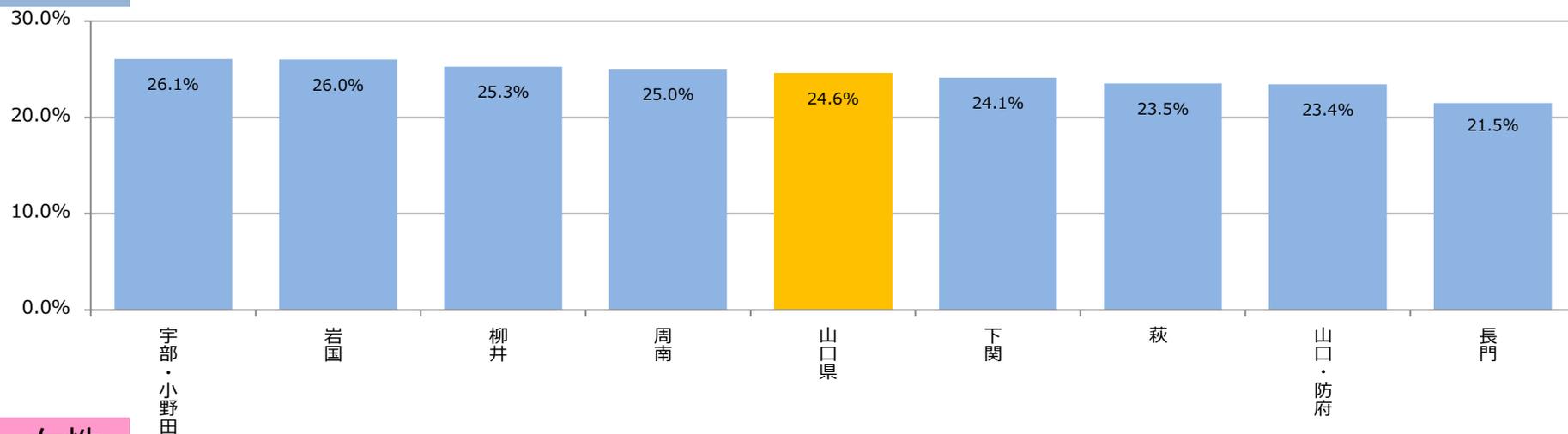


# 運動習慣の二次医療圏別比較（令和元年度）

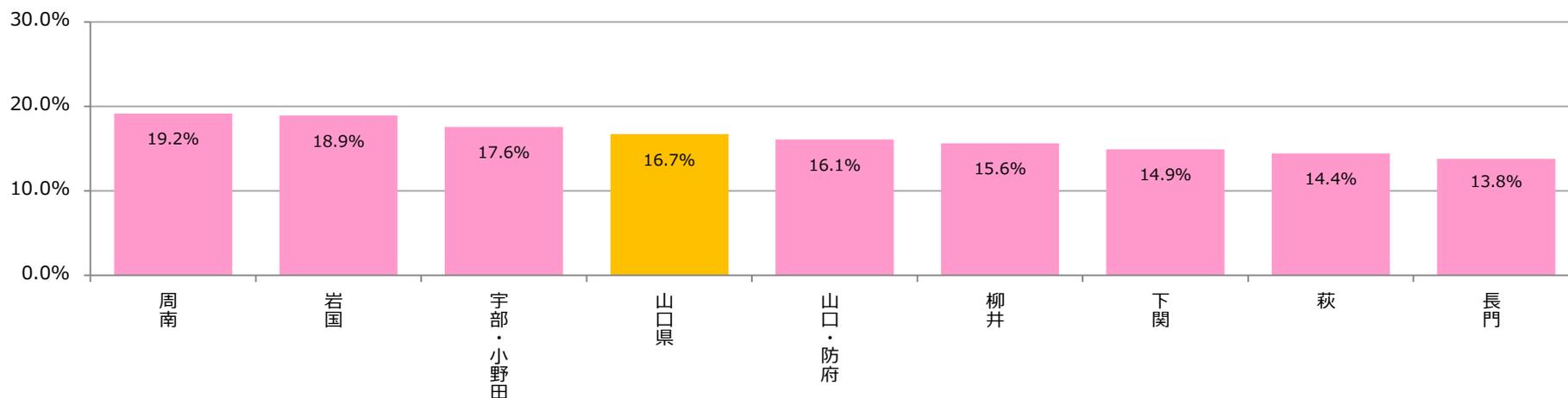
健診時の問診票の回答で、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週二日以上、1年以上にわたって実践している」と答えた方の割合です。

男性は、宇部・小野田圏、岩国圏、柳井圏、周南圏が高い傾向となっています。女性では周南圏・岩国圏・宇部・小野田圏が山口県平均より高い傾向にあります。

## 男性



## 女性

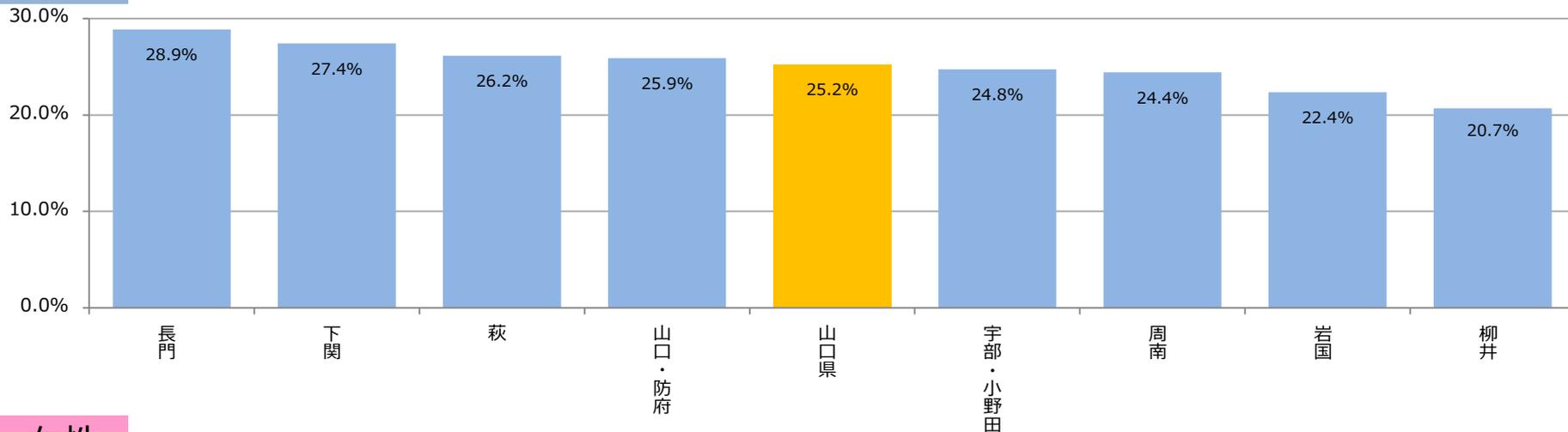


## 朝食欠食の二次医療圏別比較（令和元年度）

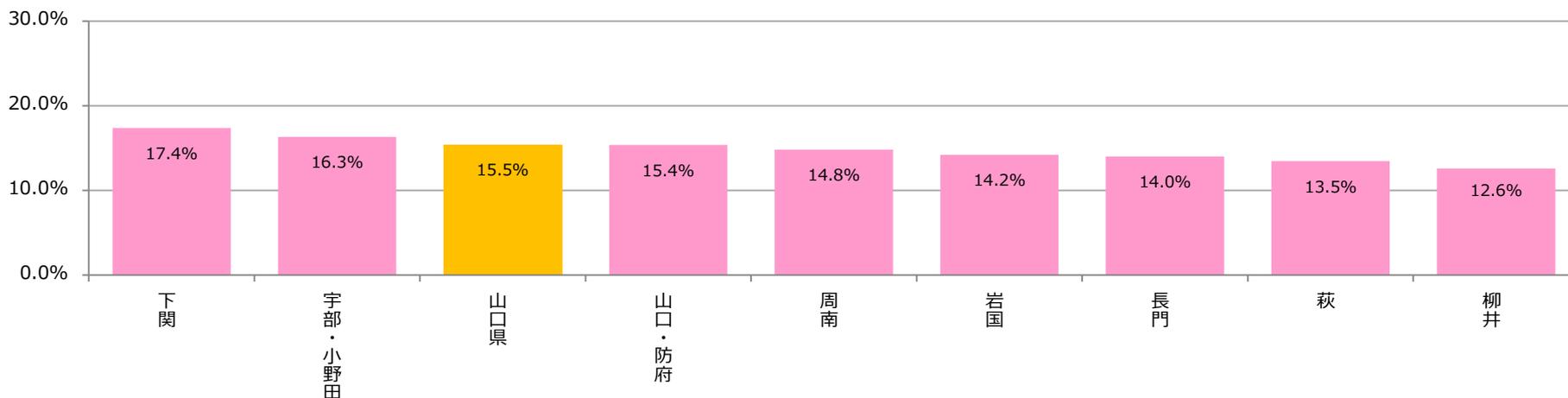
健診時の問診票の回答で、「朝食を抜くことが週3回以上ある」と答えた方の割合です。

下関圏が男性で2番目、女性で1番目に高くなっています。一方、柳井圏が男女とも最も低い傾向にあります。

## 男性



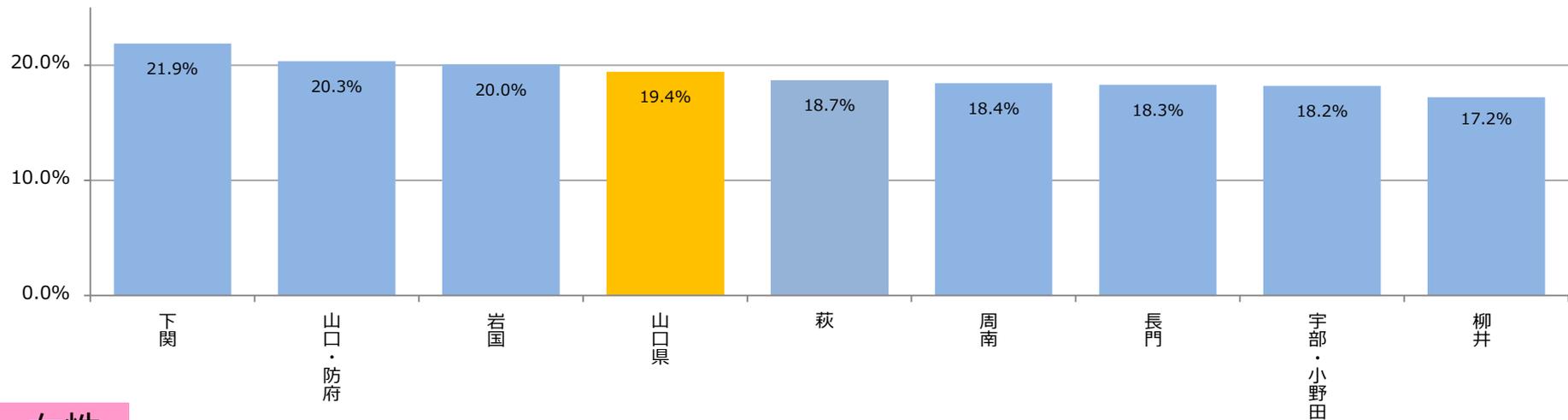
## 女性



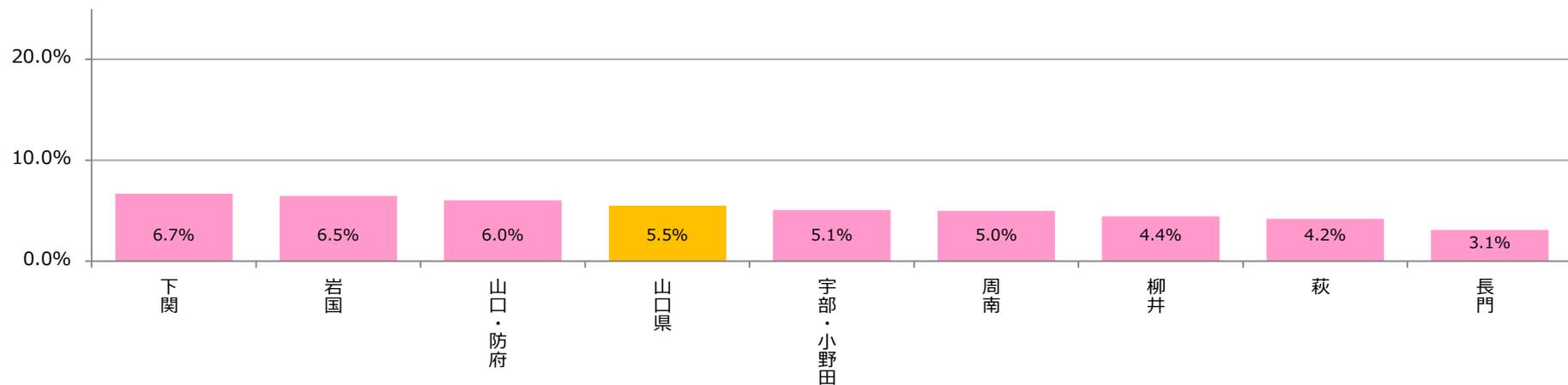
## 飲酒量の二次医療圏別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「飲酒日の一日当たりの飲酒量が日本酒2合相当分以上」と答えた方の割合です。  
男女とも、下関圏、山口・防府圏、岩国圏が平均以上となっています。

## 男性



## 女性

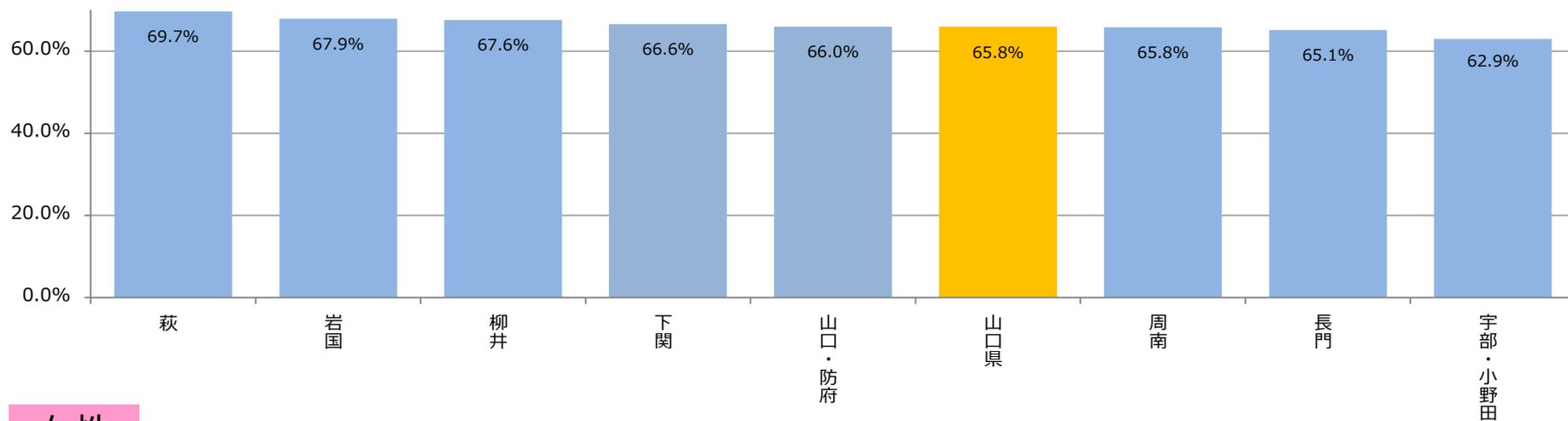


## 睡眠状況の二次医療圏別比較（令和元年度）

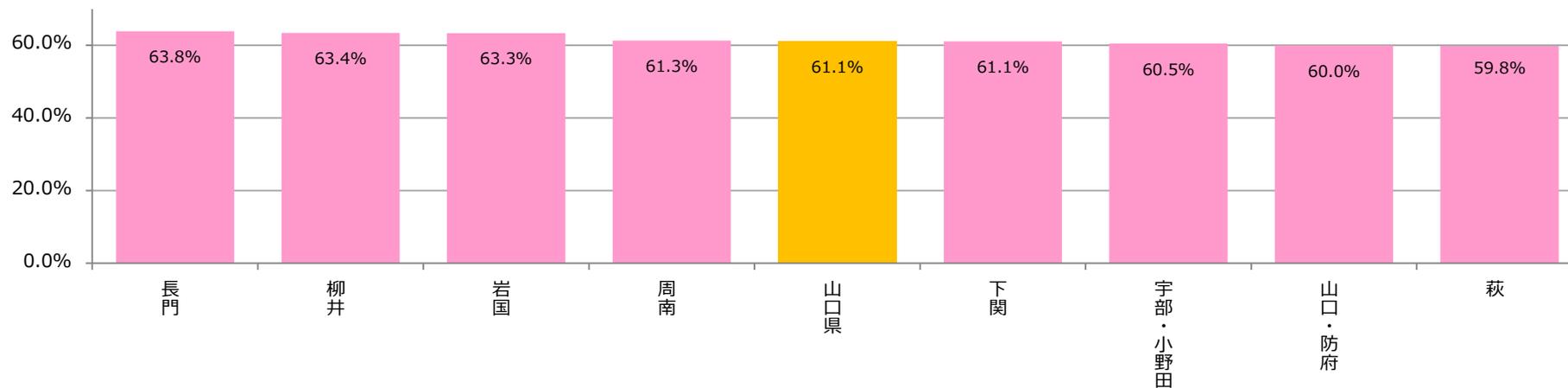
健診時の問診票の回答で、「睡眠で休養が十分取れている」と答えた方の割合です。

男性では萩圏、女性では長門圏が高い傾向にあり、どの圏域も6～7割程度しか十分な睡眠休養が取れていないとも言えます。

## 男性



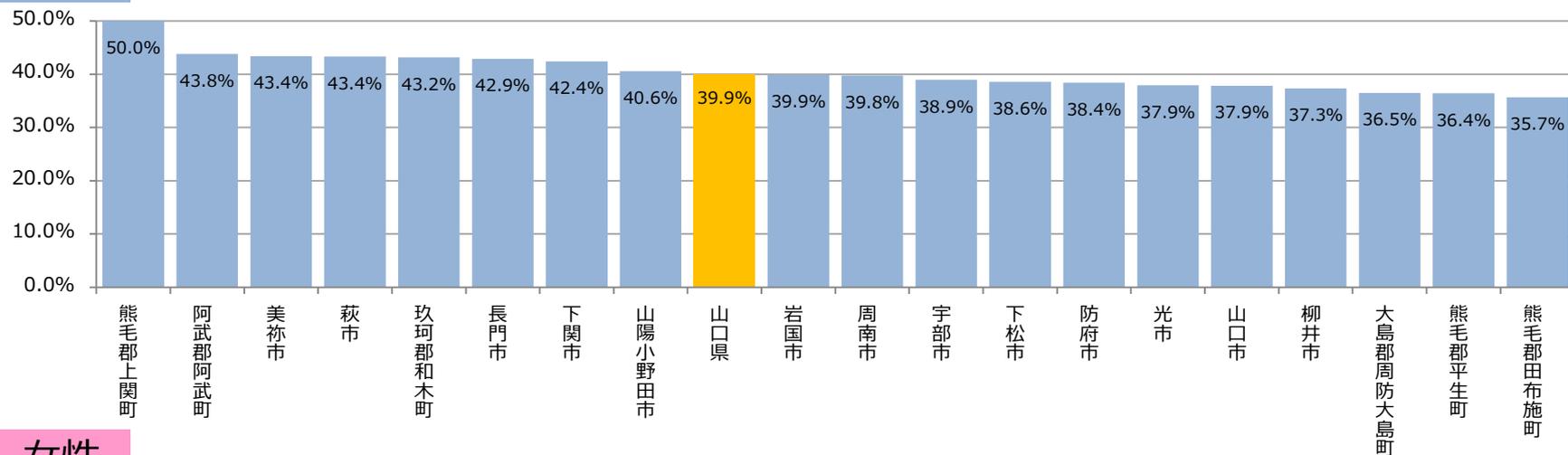
## 女性



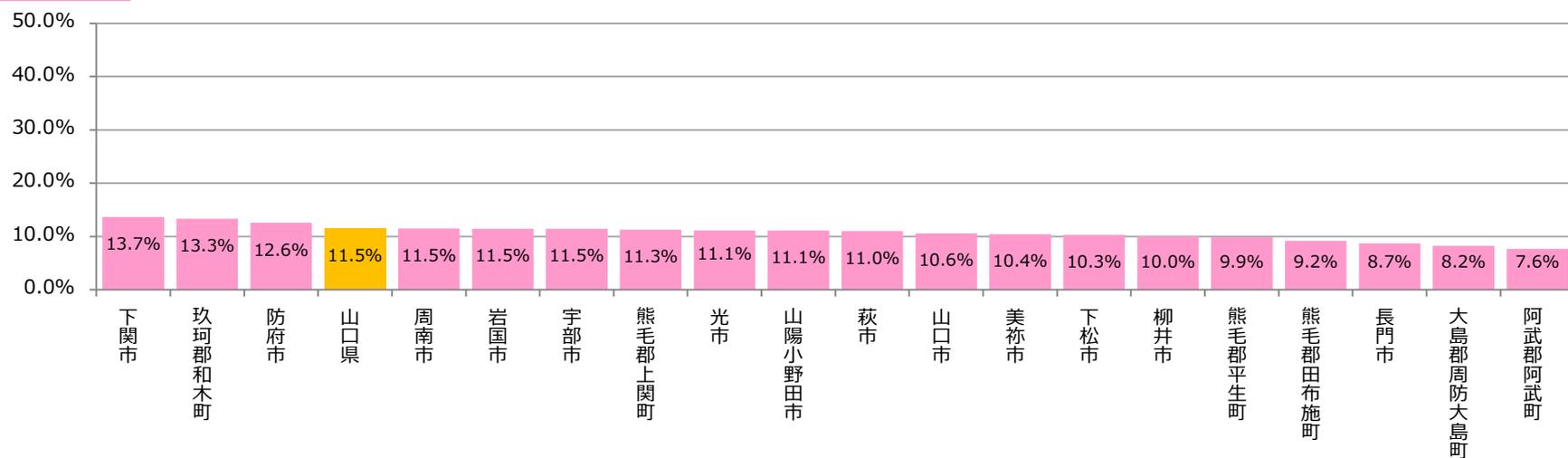
## 喫煙率の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「煙草を習慣的に吸っている」と答えた方の割合です。  
男性では熊毛郡上関町、女性では下関市、玖珂郡和木町が高い傾向にあります。

## 男性



## 女性

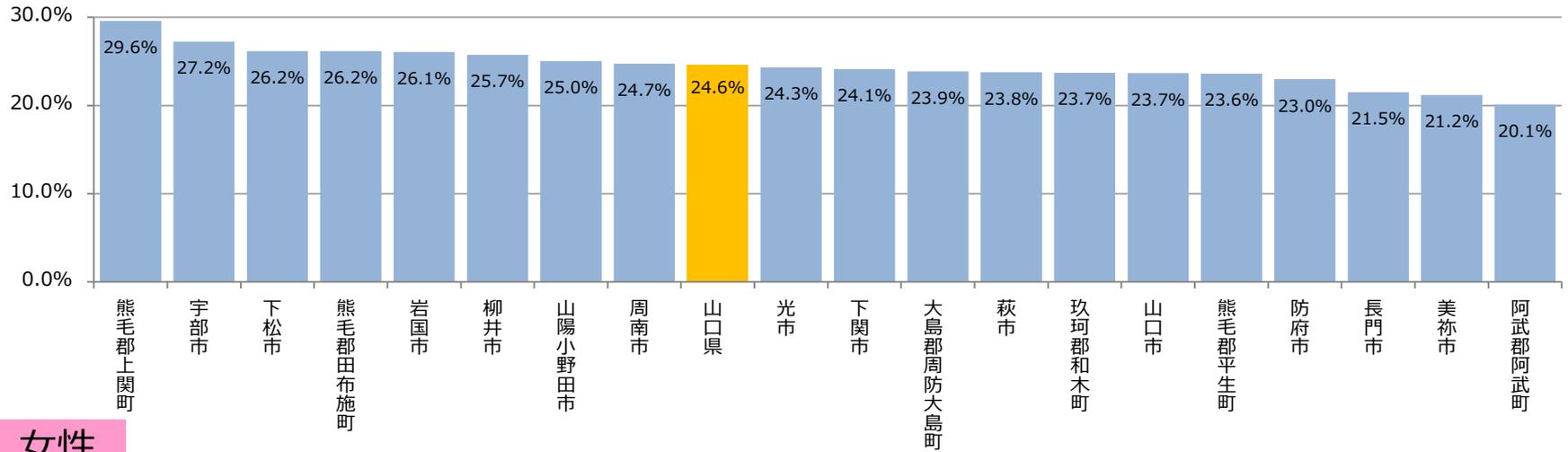


# 運動習慣の市町別比較（令和元年度）

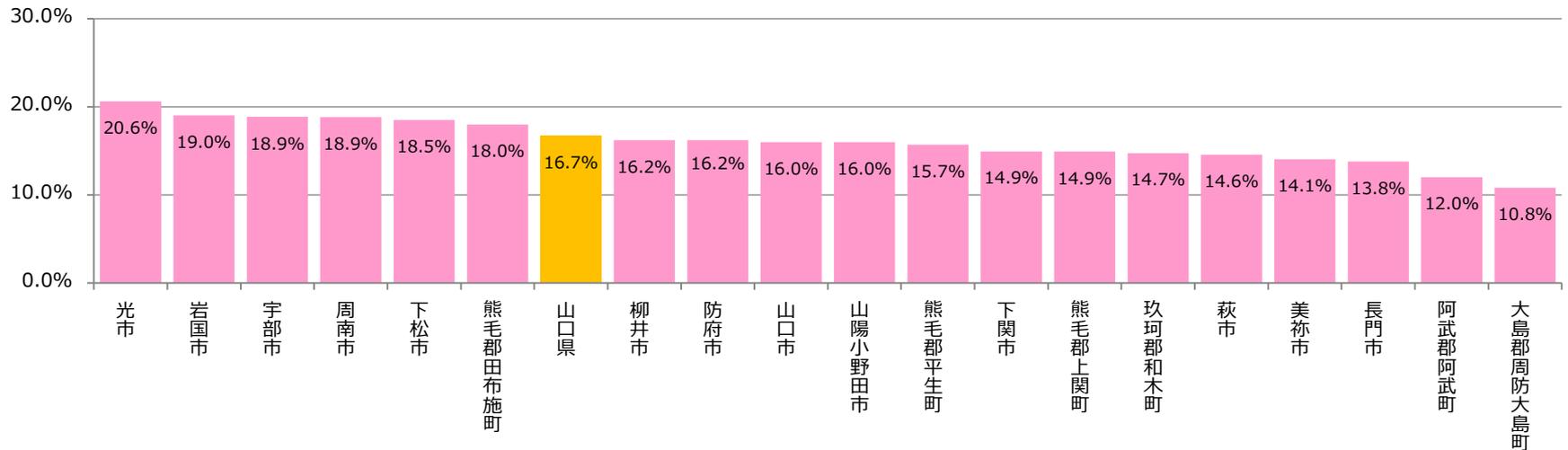
健診時の問診票の回答で、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週二日以上、1年以上にわたって実践している」と答えた方の割合です。

男性では熊毛郡上関町、女性では光市が最も高いほか、岩国市、宇部市、周南市、下松、熊毛郡田布施町、周南市が男女とも平均より高くなっています。

## 男性



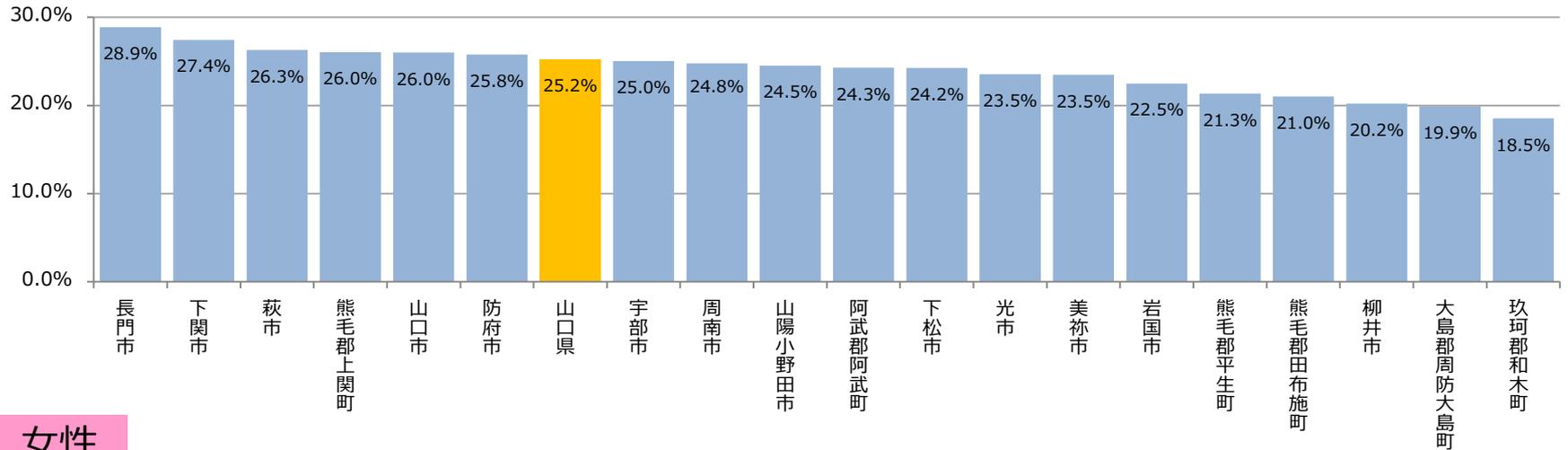
## 女性



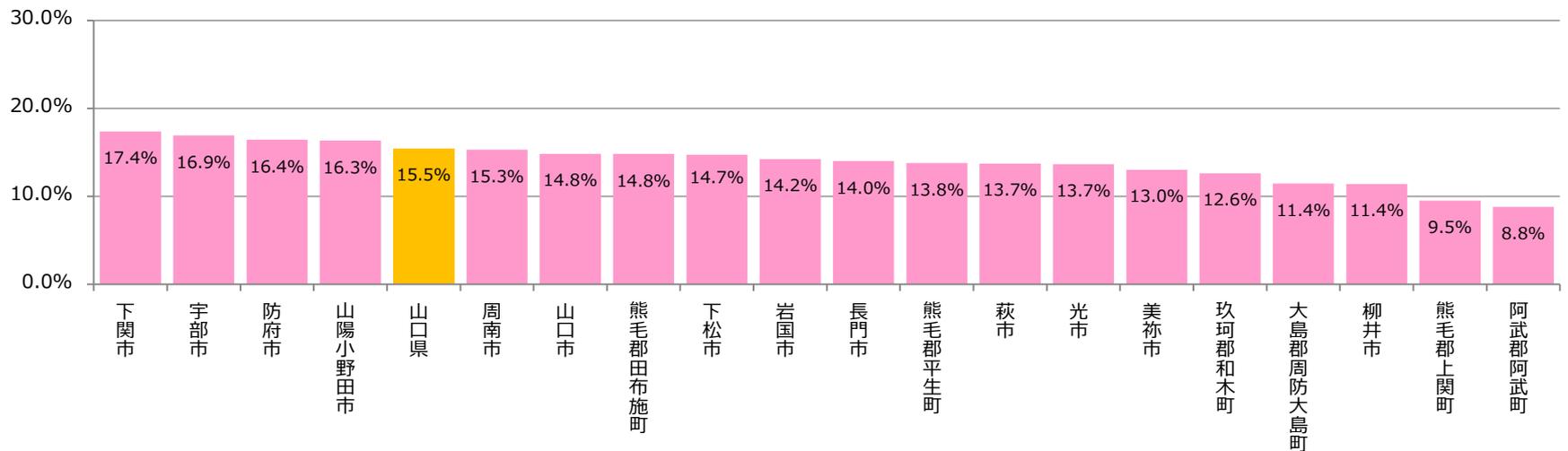
## 朝食欠食の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「朝食を抜くことが週3回以上ある」と答えた方の割合です。  
男性は長門市・下関市、女性は下関市が高い傾向にあります。

## 男性



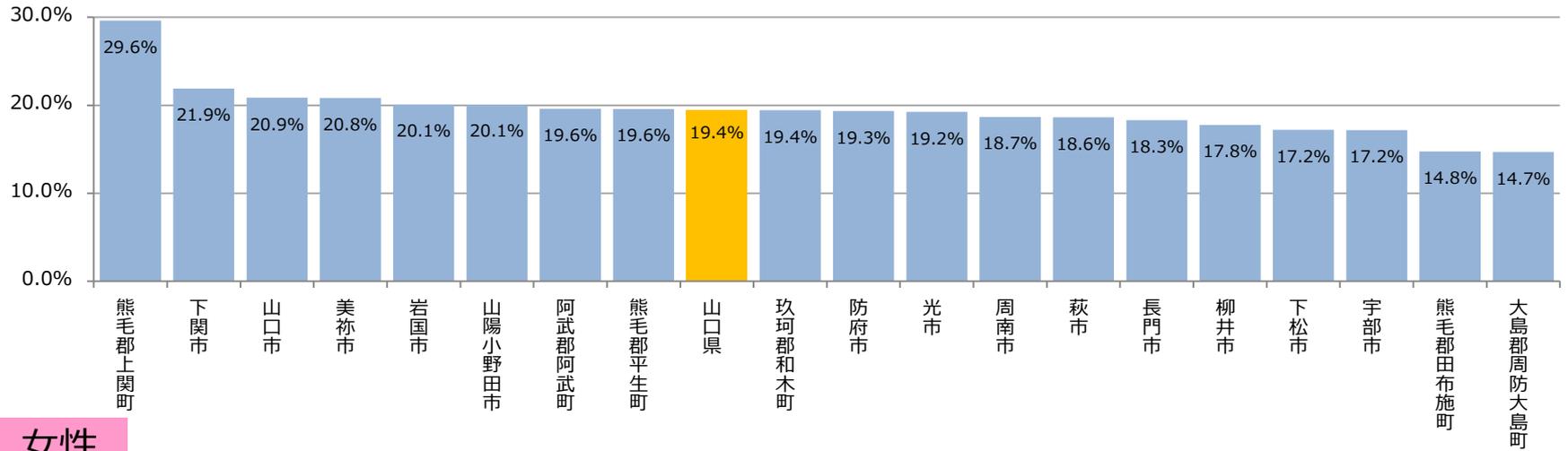
## 女性



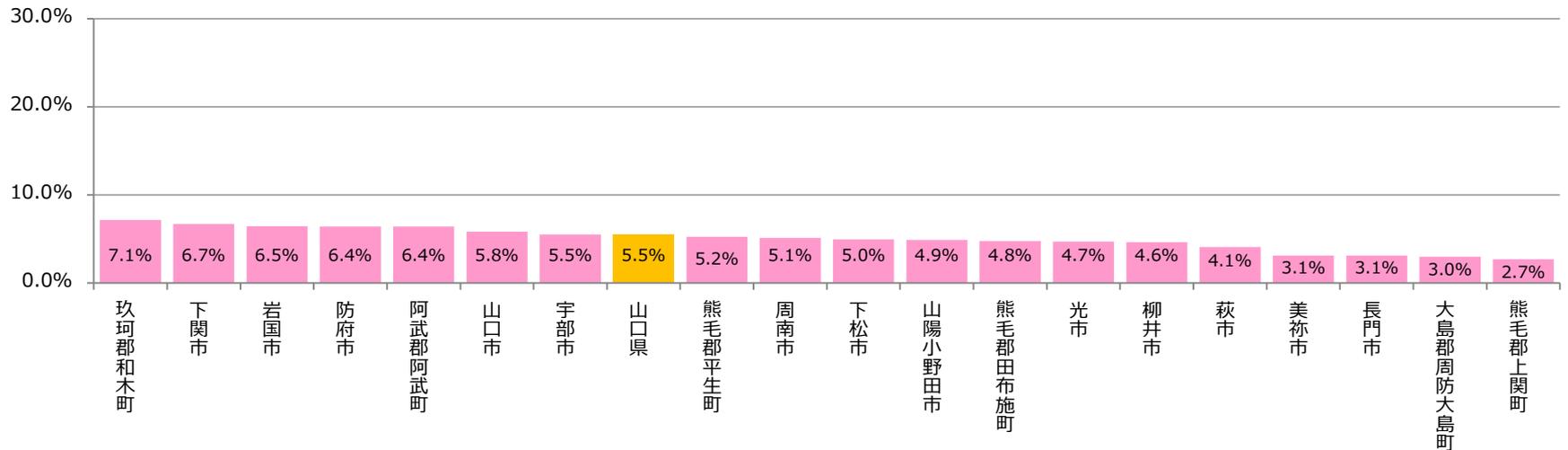
機密性2  
**飲酒量の市町別比較**（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「飲酒日の一日当たりの飲酒量が日本酒2合相当分以上」と答えた方の割合です。  
 下関市は男女ともに高い傾向にあります。

**男性**



**女性**

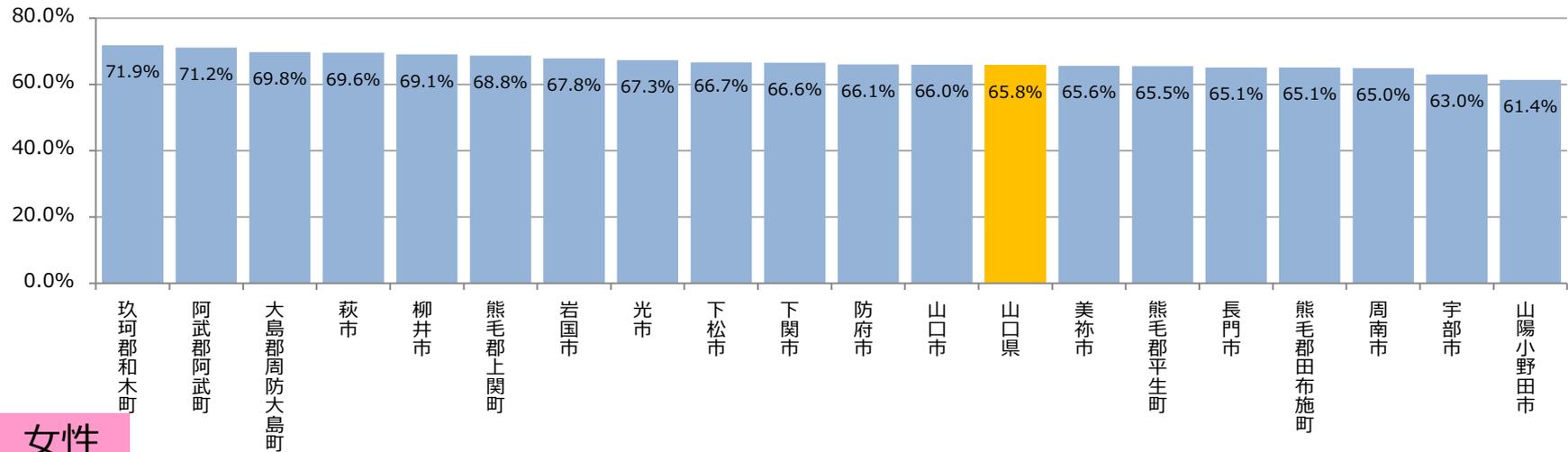


## 睡眠状況の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「睡眠で休養が十分取れている」と答えた方の割合です。

男性では玖珂郡和木町、女性では熊毛郡上関町が高い傾向にあります。

## 男性



## 女性

